

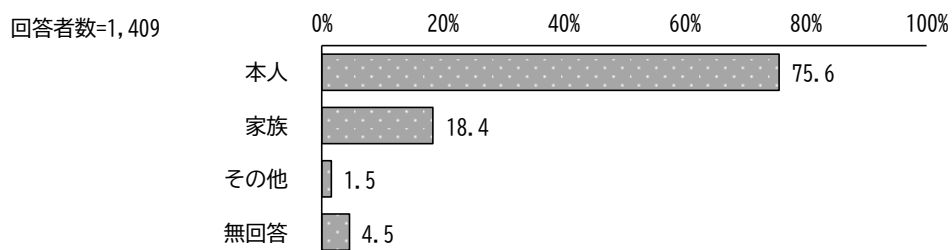
Ⅱ 調査結果

1 障害者

(1) 回答者

問1 この調査票はどなたが記入されますか。(1つに○)

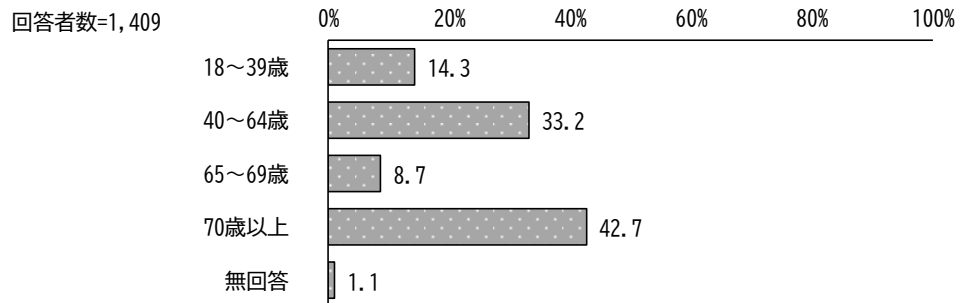
調査票の記入者については、「本人」の割合が75.6%と最も多く、次いで「家族」の割合が18.4%、「その他」の割合が1.5%となっています。



(2) 回答者属性

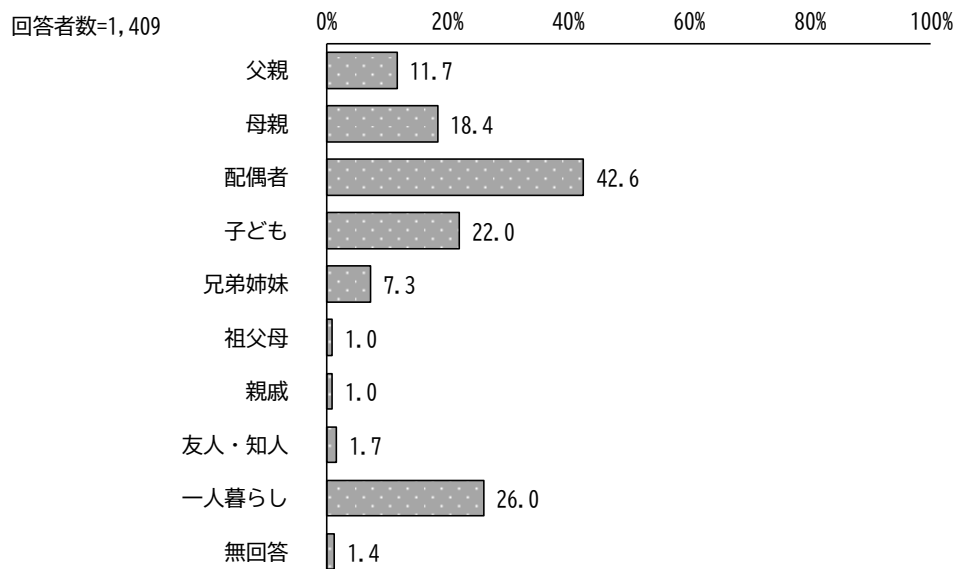
問2 年齢は次のうちどれですか。(1つに○)

年齢については、「70歳以上」の割合が42.7%と最も多く、次いで「40～64歳」の割合が33.2%、「18～39歳」の割合が14.3%となっています。



問3 同居されている方はどなたですか。(あてはまる番号すべてに○)

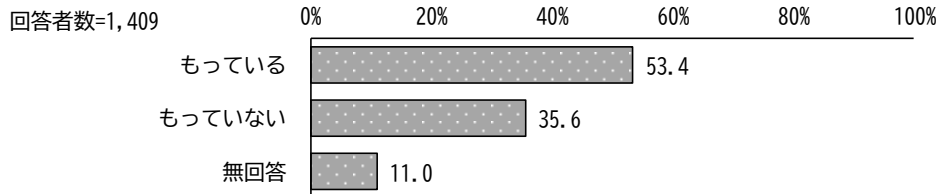
同居されている方については、「配偶者」の割合が42.6%と最も多く、次いで「一人暮らし」の割合が26.0%、「子ども」の割合が22.0%となっています。



問4 次の手帳又は医療券をお持ちですか。

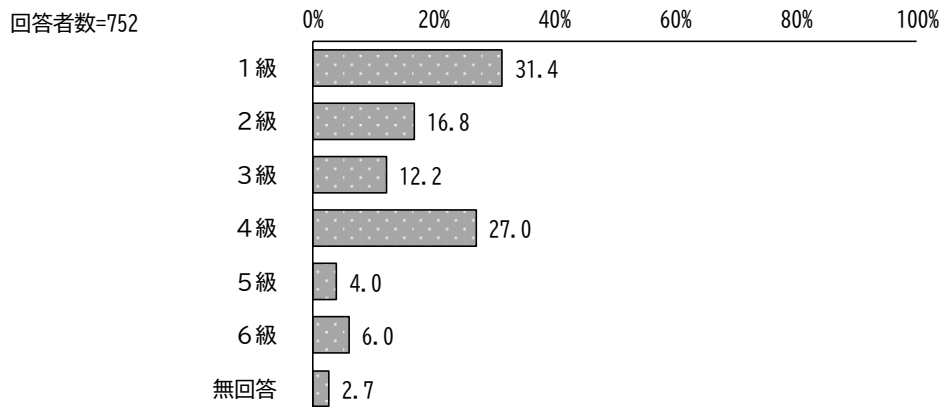
(1) 身体障害者手帳 (1つに○)

身体障害者手帳については、「もっている」の割合が53.4%、「もっていない」の割合が35.6%となっています。



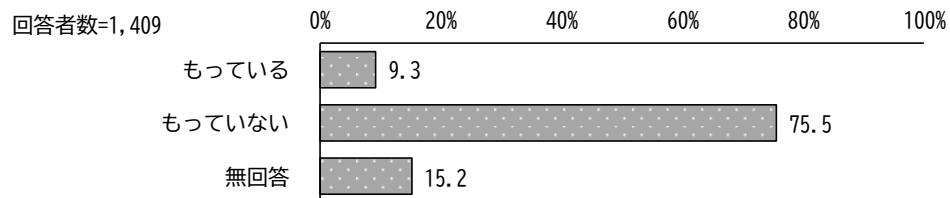
等級

障害者手帳の等級については、「1級」の割合が31.4%と最も多く、次いで「4級」の割合が27.0%、「2級」の割合が16.8%となっています。



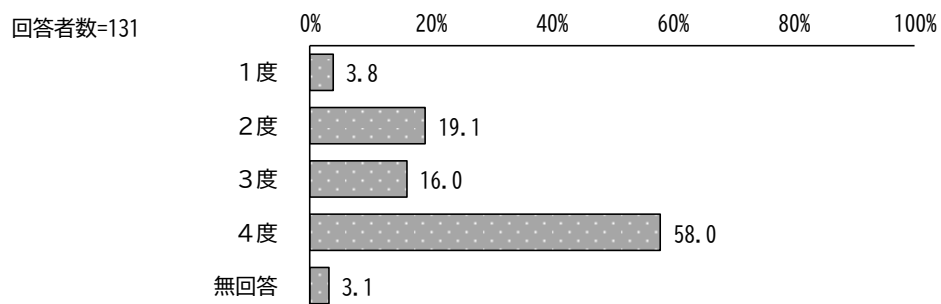
(2) 愛の手帳 (1つに○)

愛の手帳については、「もっている」の割合が9.3%、「もっていない」の割合が75.5%となっています。



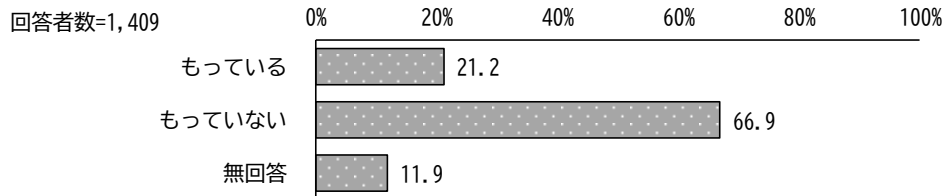
等級

愛の手帳の等級については、「4度」の割合が58.0%と最も多く、次いで「2度」の割合が19.1%、「3度」の割合が16.0%となっています。



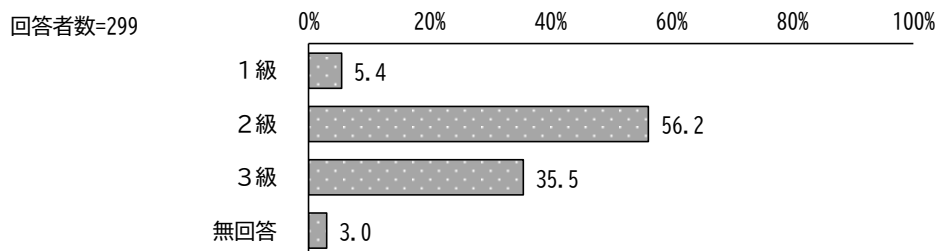
(3) 精神障害者保健福祉手帳（1つに○）

精神障害者保健福祉手帳については、「もっている」の割合が21.2%、「もっていない」の割合が66.9%となっています。



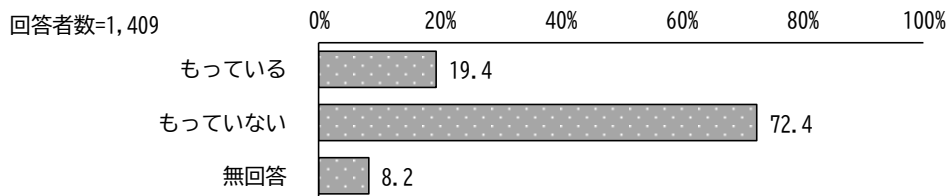
等級

精神障害者保健福祉手帳の等級については、「2級」の割合が56.2%と最も多く、次いで「3級」の割合が35.5%となっています。



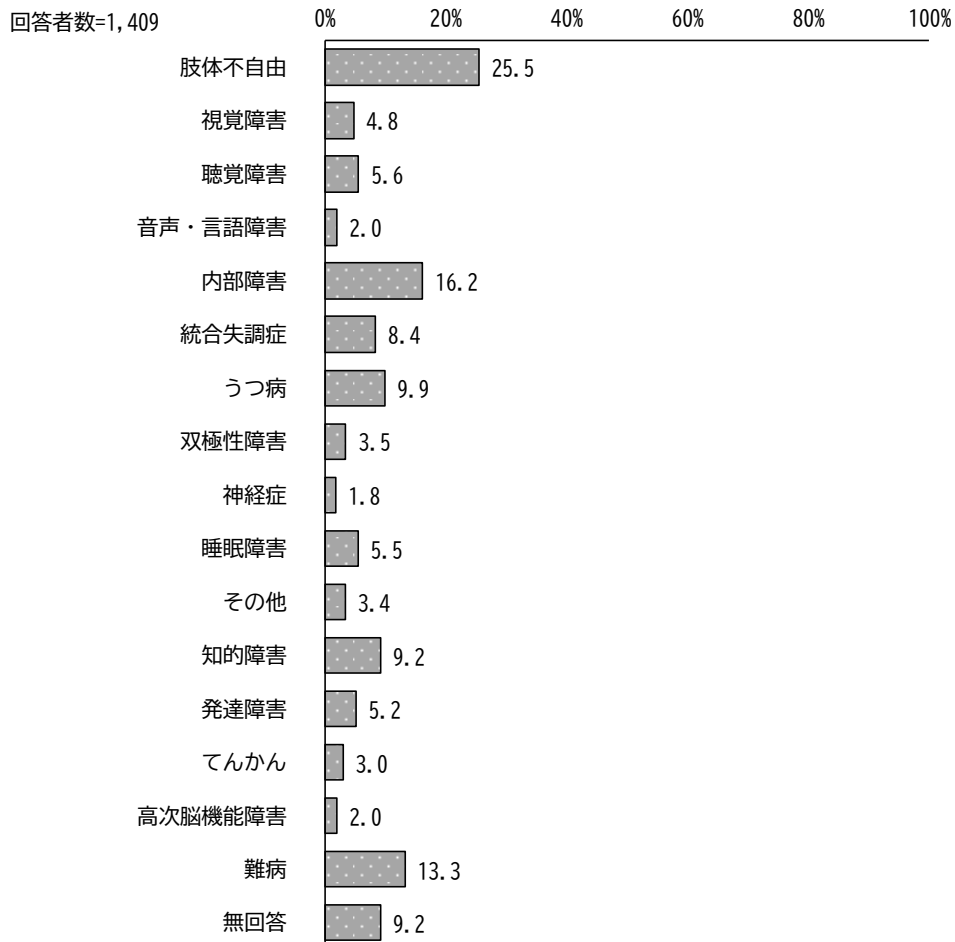
(4) 難病及び人工透析にかかる医療券をお持ちですか。（1つに○）

難病及び人工透析にかかる医療券については、「もっている」の割合が19.4%、「もっていない」の割合が72.4%となっています。



問5 障害の種類又は病名についておたずねします。(あてはまる番号すべてに○)

障害の種類又は病名については、「肢体不自由」の割合が25.5%と最も多く、次いで「内部障害」の割合が16.2%、「難病」の割合が13.3%となっています。



【障害種別】

障害種別にみると、身体障害者は「肢体不自由」(42.8%)、精神障害者は「うつ病」(37.1%)が最も多くなっています。

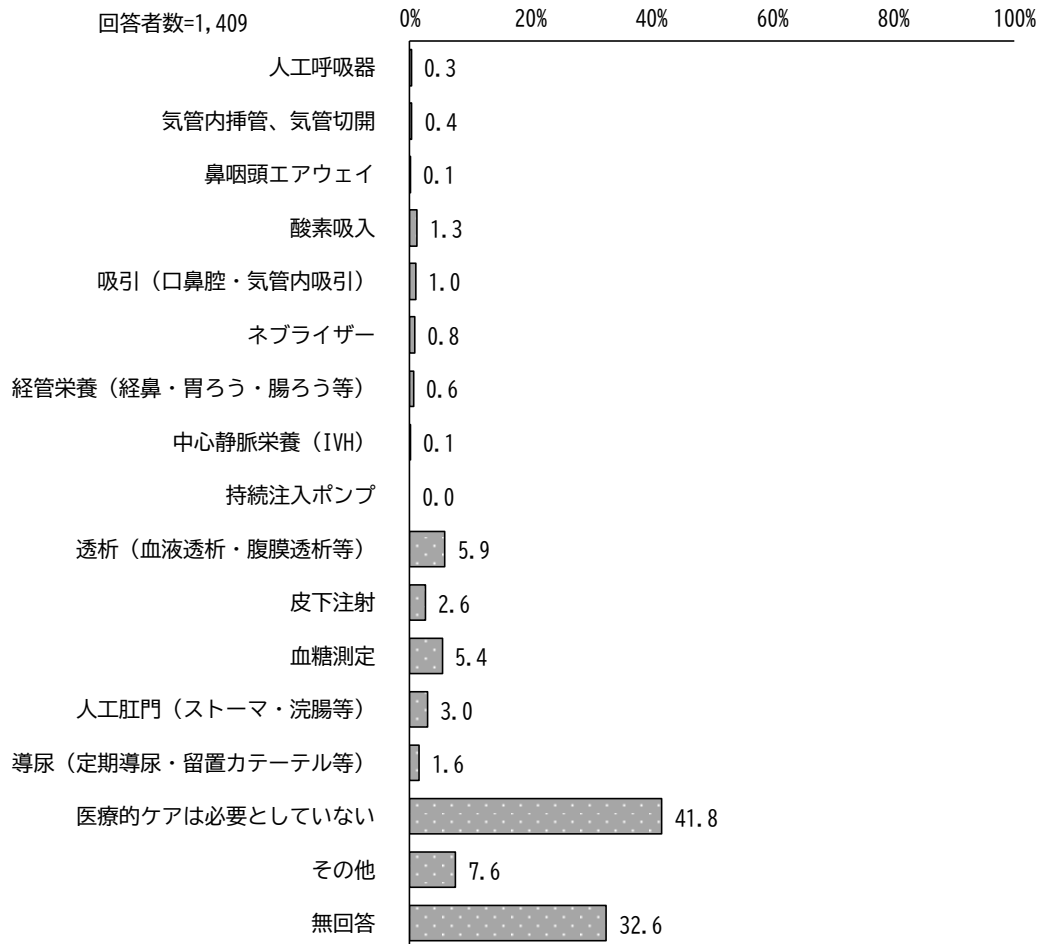
(単位：%)

区分	回答者(人)	肢体不自由	視覚障害	聴覚障害	音声・言語障害	内部障害	統合失調症	うつ病	双極性障害
全体	1,409	25.5	4.8	5.6	2.0	16.2	8.4	9.9	3.5
身体障害者	752	42.8	7.4	9.3	3.2	27.5	2.5	3.2	1.2
知的障害者	131	13.7	1.5	1.5	3.1	1.5	3.8	3.1	-
精神障害者	299	2.0	1.0	0.7	0.3	1.0	32.8	37.1	13.7
難病患者	273	11.4	4.8	2.2	1.1	23.4	1.1	1.5	0.4

区分	神経症	睡眠障害	その他	知的障害	発達障害	てんかん	高次脳機能障害	難病	無回答
全体	1.8	5.5	3.4	9.2	5.2	3.0	2.0	13.3	9.2
身体障害者	0.9	1.7	1.6	3.2	1.1	2.5	2.4	6.1	8.0
知的障害者	-	2.3	2.3	86.3	16.8	9.2	-	2.3	4.6
精神障害者	5.0	19.1	11.0	5.4	17.1	4.7	2.7	1.0	1.7
難病患者	0.4	-	1.1	1.5	-	1.8	0.4	52.0	15.4

問6 あなたは、次のような医療的ケアを必要としていますか。(あてはまる番号すべてに○)

医療的ケアの必要性については、「医療的ケアは必要としていない」の割合が41.8%と最も多く、次いで「透析（血液透析・腹膜透析等）」の割合が5.9%、「血糖測定」の割合が5.4%となっています。



【障害種別】

障害種別にみると、全ての障害で「医療的ケアは必要としていない」が最も多くなっています。

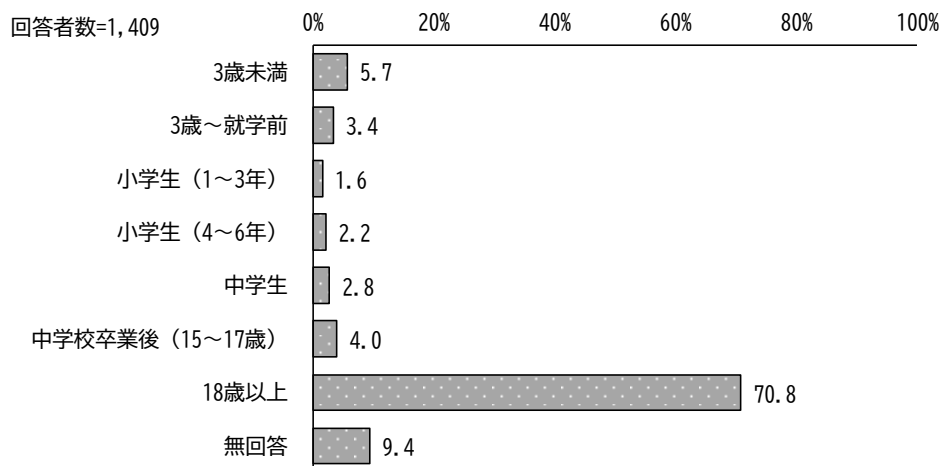
(単位：%)

区分	回答者数(人)	人工呼吸器	気管内挿管、気管切開	鼻咽頭エアウェイ	酸素吸入	吸引(口鼻腔・気管内吸引)	ネブライザー	経管栄養(経鼻・胃ろう・腸ろう等)	中心静脈栄養(IVH)
全体	1,409	0.3	0.4	0.1	1.3	1.0	0.8	0.6	0.1
身体障害者	752	0.4	0.1	0.1	2.1	1.1	1.1	0.3	0.1
知的障害者	131	0.8	-	-	-	1.5	0.8	-	-
精神障害者	299	0.3	-	-	0.3	0.7	1.0	0.7	-
難病患者	273	0.7	0.7	-	2.2	1.5	1.1	1.1	0.4

区分	持続注入ポンプ	透析(血液透析・腹膜透析等)	皮下注射	血糖測定	人工肛門(ストーマ・浣腸等)	導尿(定期導尿・留置カテーテル等)	医療的ケアは必要としていない	その他	無回答
全体	-	5.9	2.6	5.4	3.0	1.6	41.8	7.6	32.6
身体障害者	-	10.1	2.3	5.7	4.8	2.5	35.6	7.4	33.0
知的障害者	-	0.8	-	3.8	-	0.8	51.1	2.3	39.7
精神障害者	-	0.7	1.3	6.0	-	-	51.8	10.7	29.4
難病患者	-	28.2	5.1	7.7	1.8	0.7	34.8	7.3	15.8

問7 最初に診断を受けたのは何歳の頃ですか。(1つに○)

最初に診断を受けた年齢については、「18歳以上」の割合が70.8%と最も多くなっています。



【障害の種類又は病名別】

障害の種類又は病名別にみると、知的障害を除き「18歳以上」が最も多くなっています。

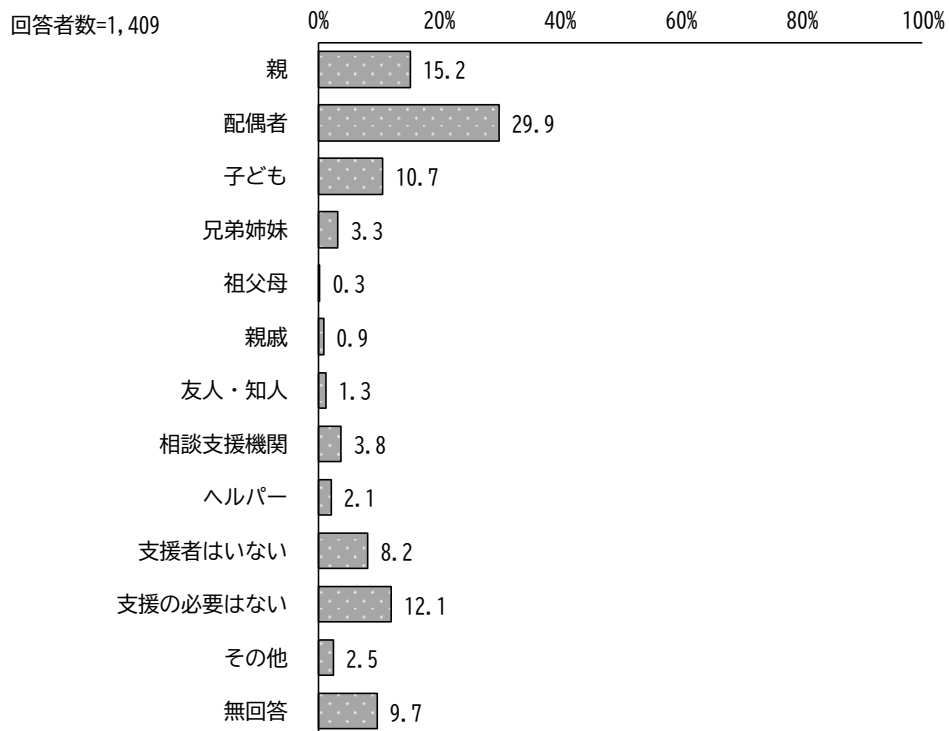
(単位：%)

区分	回答者数(人)	3歳未満	3歳～就学前	小学生(1～3年)	小学生(4～6年)	中学生	中学校卒業後(15～17歳)	18歳以上	無回答
全体	1,409	5.7	3.4	1.6	2.2	2.8	4.0	70.8	9.4
肢体不自由	359	10.9	2.8	1.1	1.7	1.7	5.3	67.4	9.2
視覚障害	67	7.5	1.5	1.5	4.5	1.5	3.0	68.7	11.9
聴覚障害	79	16.5	5.1	3.8	2.5	1.3	1.3	48.1	21.5
音声・言語障害	28	10.7	7.1	3.6	-	-	3.6	67.9	7.1
内部障害	228	1.3	0.9	1.3	1.3	0.9	1.8	86.8	5.7
統合失調症	118	0.8	0.8	-	2.5	9.3	5.9	75.4	5.1
うつ病	139	1.4	0.7	0.7	2.2	3.6	6.5	79.1	5.8
双極性障害	50	-	-	-	-	-	6.0	94.0	-
神経症	26	3.8	3.8	3.8	-	-	3.8	73.1	11.5
睡眠障害	78	2.6	-	1.3	3.8	1.3	3.8	79.5	7.7
その他	48	2.1	-	4.2	4.2	4.2	8.3	70.8	6.3
知的障害	130	26.9	20.8	3.8	7.7	5.4	6.2	23.8	5.4
発達障害	73	9.6	8.2	6.8	1.4	8.2	5.5	60.3	-
てんかん	42	21.4	7.1	7.1	7.1	4.8	-	52.4	-
高次脳機能障害	28	-	-	-	-	3.6	-	85.7	10.7
難病	188	2.1	0.5	0.5	0.5	0.5	2.7	88.8	4.3

(3) 日常生活について

問8 主な支援者は誰ですか。(1つに○)

主な支援者については、「配偶者」の割合が29.9%と最も多く、次いで「親」の割合が15.2%、「支援の必要はない」の割合が12.1%となっています。



【障害種別】

障害種別にみると、身体障害者、難病患者は「配偶者」(順に36.6%、34.8%)、知的障害者、精神障害者は「親」(順に55.7%、31.8%)が最も多くなっています。

(単位：%)

区分	回答者数(人)	親	配偶者	子ども	兄弟姉妹	祖父母	親戚	友人・知人	相談支援機関	ヘルパー	支援者はいない	支援の必要はない	その他	無回答
全体	1,409	15.2	29.9	10.7	3.3	0.3	0.9	1.3	3.8	2.1	8.2	12.1	2.5	9.7
身体障害者	752	7.3	36.6	13.0	3.3	0.1	1.2	1.7	1.5	2.9	7.7	13.0	1.6	10.0
知的障害者	131	55.7	4.6	0.8	2.3	-	-	0.8	5.3	0.8	0.8	2.3	12.2	14.5
精神障害者	299	31.8	19.4	4.0	3.3	1.0	1.0	1.0	11.7	1.7	10.7	3.7	2.7	8.0
難病患者	273	7.3	34.8	12.1	4.4	-	-	0.4	0.4	0.7	8.8	22.3	0.7	8.1

【障害の種類又は病名別】

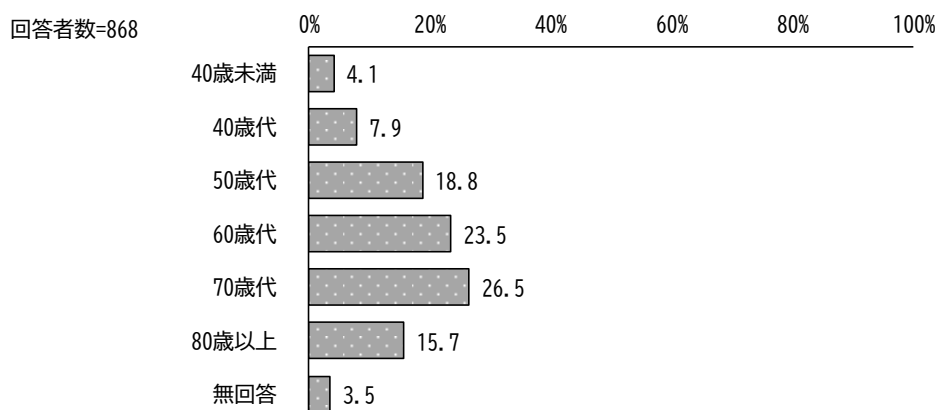
(単位：%)

区分	回答者数(人)	親	配偶者	子ども	兄弟姉妹	祖父母	親戚	友人・知人	相談支援機関	ヘルパー	支援者はいない	支援の必要はない	その他	無回答
全体	1,409	15.2	29.9	10.7	3.3	0.3	0.9	1.3	3.8	2.1	8.2	12.1	2.5	9.7
肢体不自由	359	8.6	39.3	10.3	2.8	-	1.1	1.9	0.8	4.5	7.2	10.6	1.4	11.4
視覚障害	67	10.4	43.3	14.9	3.0	-	-	1.5	6.0	4.5	4.5	1.5	-	10.4
聴覚障害	79	6.3	29.1	20.3	5.1	-	3.8	-	1.3	2.5	8.9	12.7	1.3	8.9
音声・言語障害	28	10.7	46.4	3.6	3.6	-	3.6	-	-	-	3.6	7.1	3.6	17.9
内部障害	228	4.4	35.1	14.9	3.9	-	0.9	1.3	0.4	2.2	11.0	19.7	1.8	4.4
統合失調症	118	41.5	13.6	2.5	5.9	1.7	1.7	0.8	9.3	-	8.5	2.5	0.8	11.0
うつ病	139	20.9	20.1	9.4	1.4	0.7	-	3.6	11.5	2.9	15.8	4.3	1.4	7.9
双極性障害	50	28.0	28.0	4.0	2.0	-	-	2.0	6.0	2.0	12.0	4.0	-	12.0
神経症	26	11.5	23.1	11.5	-	-	-	-	7.7	3.8	26.9	3.8	-	11.5
睡眠障害	78	12.8	17.9	5.1	1.3	-	-	-	14.1	2.6	24.4	3.8	3.8	14.1
その他	48	18.8	14.6	12.5	2.1	2.1	-	2.1	10.4	2.1	20.8	4.2	4.2	6.3
知的障害	130	54.6	4.6	1.5	3.1	-	-	0.8	7.7	0.8	0.8	0.8	13.1	12.3
発達障害	73	38.4	8.2	1.4	-	-	1.4	1.4	15.1	1.4	4.1	8.2	4.1	16.4
てんかん	42	42.9	19.0	4.8	-	-	-	-	4.8	-	7.1	11.9	2.4	7.1
高次脳機能障害	28	7.1	50.0	10.7	3.6	-	-	-	-	14.3	3.6	-	-	10.7
難病	188	8.5	37.8	10.1	2.1	0.5	-	-	-	2.1	8.0	26.1	0.5	4.3

【問8で「1.」～「7.」のいずれかを選択した方に伺います】

問9 支援者がいる場合、主な支援者の年齢はどれですか。(1つに○)

主な支援者の年齢については、「70歳代」の割合が26.5%と最も多く、次いで「60歳代」の割合が23.5%、「50歳代」の割合が18.8%となっています。



【障害種別】

障害種別にみると、身体障害者、精神障害者、難病患者は「70歳代」(順に30.5%、22.8%、28.0%)、知的障害者は「60歳代」(29.8%)が最も多くなっています。

(単位: %)

区分	回答者数(人)	40歳未満	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
全体	868	4.1	7.9	18.8	23.5	26.5	15.7	3.5
身体障害者	476	2.1	6.7	18.3	23.7	30.5	16.2	2.5
知的障害者	84	4.8	4.8	23.8	29.8	20.2	8.3	8.3
精神障害者	184	8.7	9.2	19.6	22.3	22.8	13.6	3.8
難病患者	161	5.0	10.6	18.0	20.5	28.0	16.1	1.9

【年齢別】

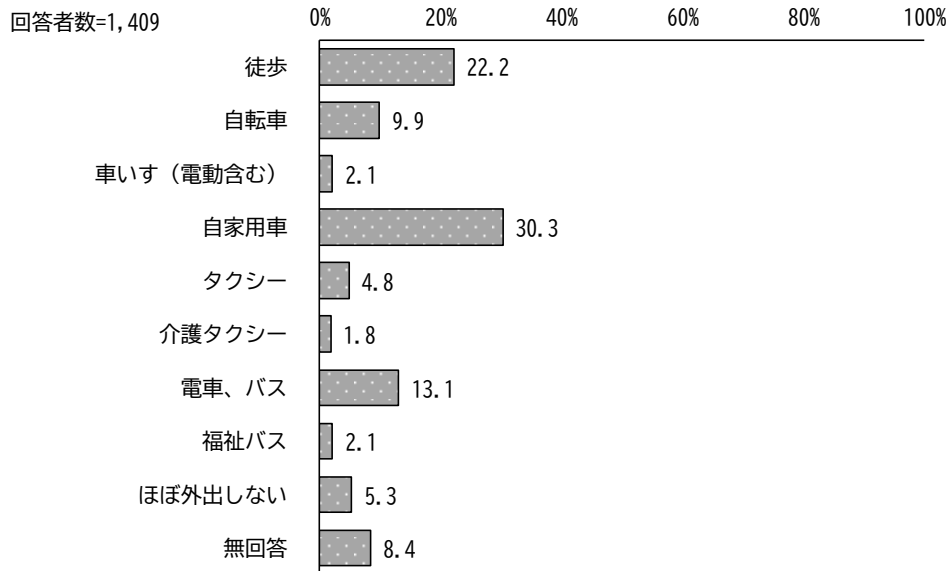
障害者年齢別にみると、18～39歳、65～69歳は「60歳代」（順に36.2%、60.0%）、40～64歳、70歳以上は「70歳代」（順に23.0%、36.2%）が最も多くなっています。

(単位：%)

障害者年齢 \ 支援者年齢	回答者数(人)	40歳未満	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
全体	868	4.1	7.9	18.8	23.5	26.5	15.7	3.5
18～39歳	130	7.7	6.9	33.1	36.2	9.2	1.5	5.4
40～64歳	248	8.1	13.3	20.2	16.9	23.0	16.1	2.4
65～69歳	70	5.7	5.7	5.7	60.0	14.3	4.3	4.3
70歳以上	412	0.5	5.3	15.5	17.7	36.2	21.6	3.2

問 10 外出する際の最も多い手段は何ですか。(1つに○)

外出する際の最も多い手段については、「自家用車」の割合が30.3%と最も多く、次いで「徒歩」の割合が22.2%、「電車、バス」の割合が13.1%となっています。



【障害種別】

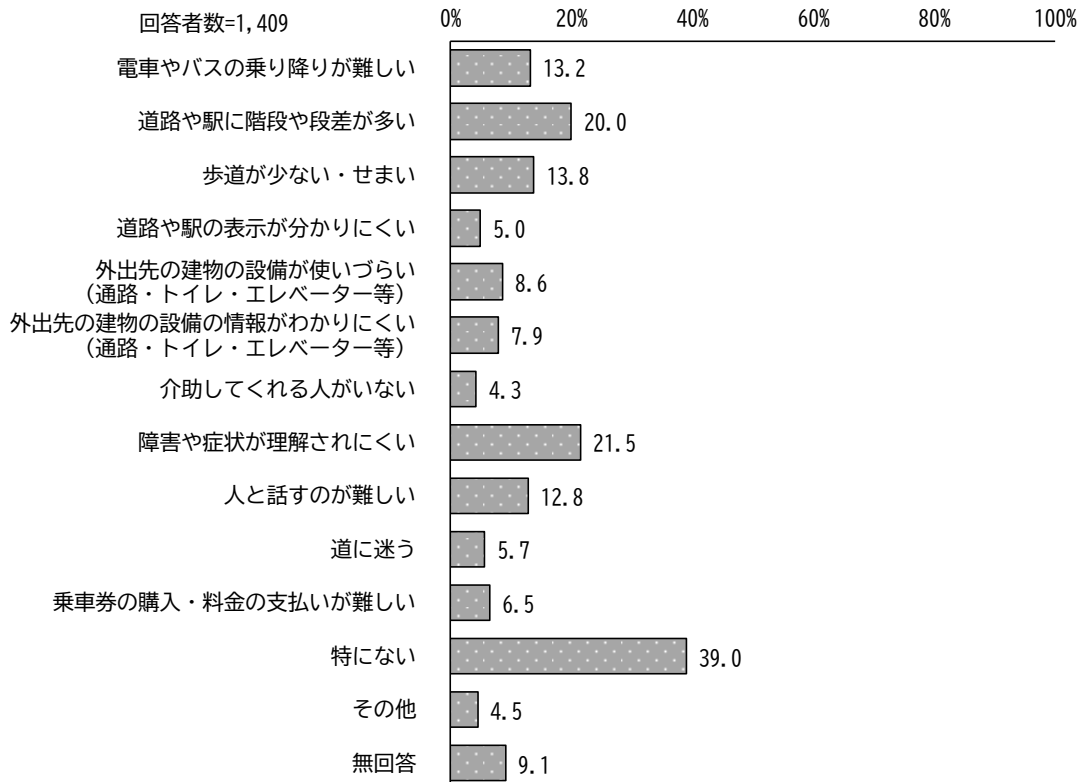
障害種別にみると、身体障害者、難病患者では「自家用車」(順に35.4%、39.6%)、知的障害者は「電車、バス」(28.2%)、精神障害者は「徒歩」(32.1%)が最も多くなっています。

(単位：%)

区分	回答者数(人)	徒歩	自転車	車いす(電動含む)	自家用車	タクシー	介護タクシー	電車、バス	福祉バス	ほぼ外出しない	無回答
全体	1,409	22.2	9.9	2.1	30.3	4.8	1.8	13.1	2.1	5.3	8.4
身体障害者	752	20.6	6.6	3.1	35.4	6.5	2.5	9.0	2.4	4.7	9.2
知的障害者	131	19.8	16.0	0.8	23.7	-	1.5	28.2	0.8	3.1	6.1
精神障害者	299	32.1	15.7	1.0	17.7	1.7	0.3	17.1	1.3	7.7	5.4
難病患者	273	16.8	8.8	0.7	39.6	3.3	1.8	13.6	1.8	4.0	9.5

問11 外出のときに、困ることはありますか（特に市内で）。（あてはまる番号すべてに○）

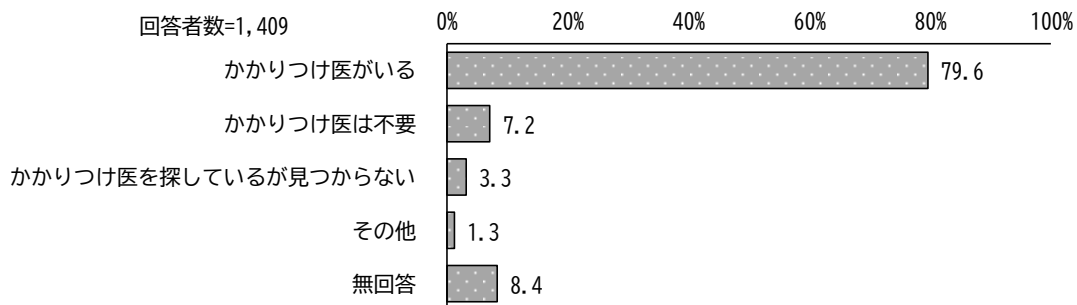
外出する際に困ることについては、「特にない」の割合が39.0%と最も多く、次いで「障害や症状が理解されにくい」の割合が21.5%、「道路や駅に階段や段差が多い」の割合が20.0%となっています。



(4) 健康・医療について

問 12 あなたは、かかりつけ医はいますか。(1つに○)

かかりつけ医の有無については、「かかりつけ医がいる」の割合が79.6%と最も多く、次いで「かかりつけ医は不要」の割合が7.2%、「かかりつけ医を探しているが見つからない」の割合が3.3%となっています。



【障害種別】

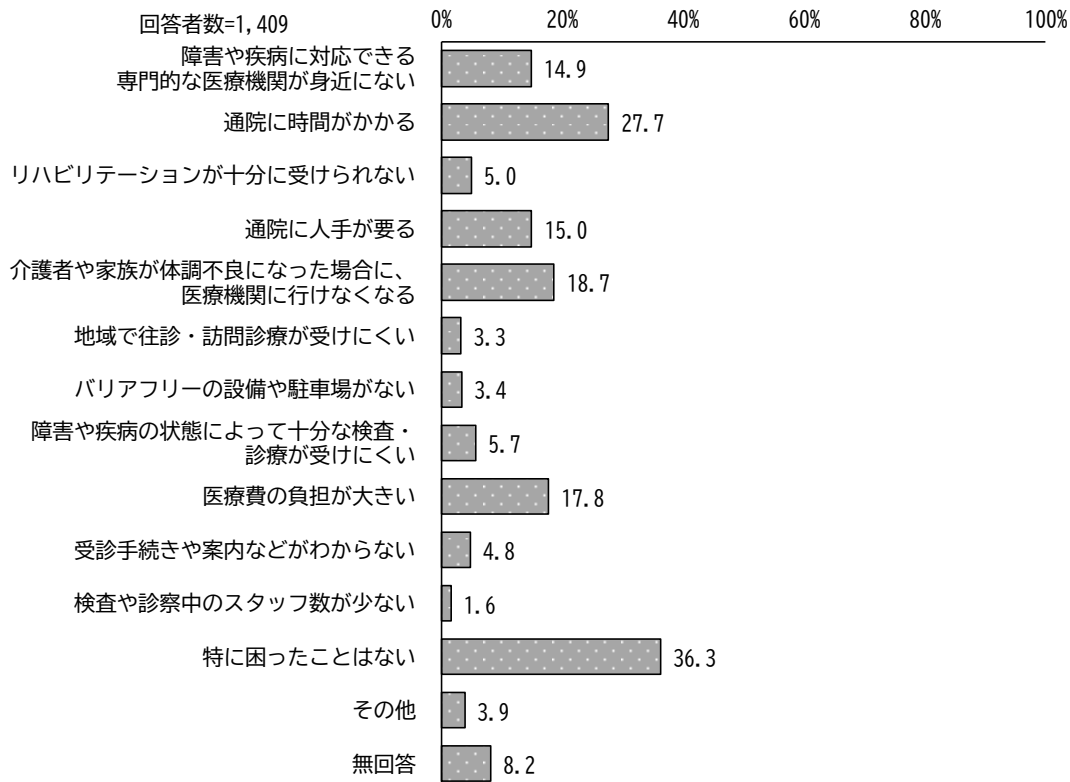
障害種別にみると、全ての障害で「かかりつけ医がいる」が最も多くなっていますが、知的障害では「かかりつけ医は不要」が22.9%と他の障害に比べ多くなっています。

(単位：%)

区分	回答者数(人)	かかりつけ医がいる	かかりつけ医は不要	見かけからかかりつけ医を探しているが見つからない	その他	無回答
全体	1,409	79.6	7.2	3.3	1.3	8.4
身体障害者	752	78.3	7.6	2.9	1.5	9.7
知的障害者	131	64.1	22.9	3.1	2.3	7.6
精神障害者	299	87.3	5.4	4.3	1.0	2.0
難病患者	273	84.6	2.2	1.5	1.5	10.3

問 13 あなたは、健康管理や医療について、困ったり不便に思うことはありますか。
 (あてはまる番号すべてに○)

健康管理や医療について、困ったり不便に思うことについては、「特に困ったことはない」の割合が36.3%と最も多く、次いで「通院に時間がかかる」の割合が27.7%、「介護者や家族が体調不良になった場合に、医療機関に行けなくなる」の割合が18.7%となっています。



【障害種別】

障害種別にみると、困ったり不便に思うことについては、身体障害者、難病患者は「特に困ったことはない」（順に40.0%、38.5%）、知的障害者は「通院に人手が要る」（36.6%）、精神障害者は「通院に時間がかかる」（40.8%）が最も多くなっています。

(単位：%)

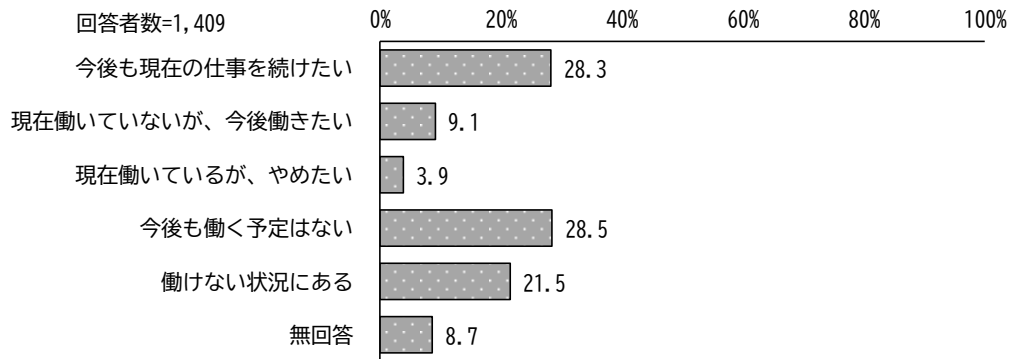
区分	回答者数（人）	障害や疾病に対応できる専門的な医療機関が身近にない	通院に時間がかかる	リハビリテーションが十分に受けられない	通院に人手が要る	介護者や家族が体調不良になった場合に、医療機関に行けなくなる	地域で往診・訪問診療が受けにくい	バリアフリーの設備や駐車場がない	障害や疾病の状態によって十分な検査・診療が受けにくい
全体	1,409	14.9	27.7	5.0	15.0	18.7	3.3	3.4	5.7
身体障害者	752	12.4	22.2	6.4	16.0	19.7	3.7	5.2	5.2
知的障害者	131	14.5	28.2	4.6	36.6	26.0	2.3	1.5	7.6
精神障害者	299	22.1	40.8	4.0	8.4	14.4	4.3	2.3	10.0
難病患者	273	16.1	30.0	4.0	14.3	18.3	0.7	1.8	4.0

区分	医療費の負担が大きい	受診手続きや案内などがわからない	検査や診察中のスタッフ数が少ない	特に困ったことはない	その他	無回答
全体	17.8	4.8	1.6	36.3	3.9	8.2
身体障害者	16.5	4.3	2.3	40.0	3.2	9.6
知的障害者	10.7	15.3	0.8	32.8	3.1	3.8
精神障害者	23.1	5.4	0.7	28.4	5.0	5.4
難病患者	16.1	1.5	1.5	38.5	5.1	6.2

(5) 就労について

問 14 現在の就労状況について教えてください。(1つに○)

現在の就労状況については、「今後も働く予定はない」の割合が28.5%と最も多く、次いで「今後も現在の仕事を続けたい」の割合が28.3%、「働けない状況にある」の割合が21.5%となっています。



【障害種別】

障害種別にみると、身体障害者は「今後も働く予定はない」(36.7%)、知的障害者、難病患者は「今後も現在の仕事を続けたい」(順に 59.5%、38.1%)、精神障害者は「働けない状況にある」(32.1%)が最も多くなっています。

(単位：%)

区分	回答者数(人)	今後も現在の仕事を続けたい	現在働いていないが、今後働きたい	現在働いているが、やめたい	今後も働く予定はない	働けない状況にある	無回答
全体	1,409	28.3	9.1	3.9	28.5	21.5	8.7
身体障害者	752	20.1	7.7	3.2	36.7	22.2	10.1
知的障害者	131	59.5	6.9	5.3	11.5	11.5	5.3
精神障害者	299	31.1	17.1	5.4	11.7	32.1	2.7
難病患者	273	38.1	5.5	5.1	27.8	16.8	6.6

【年齢別】

年齢別に見ると、18～39歳、40～64歳で「今後も現在の仕事を続けたい」（順に50.5%、44.4%）、65～69歳、70歳以上で「今後も働く予定はない」（順に36.9%、49.1%）が最も多くなっています。

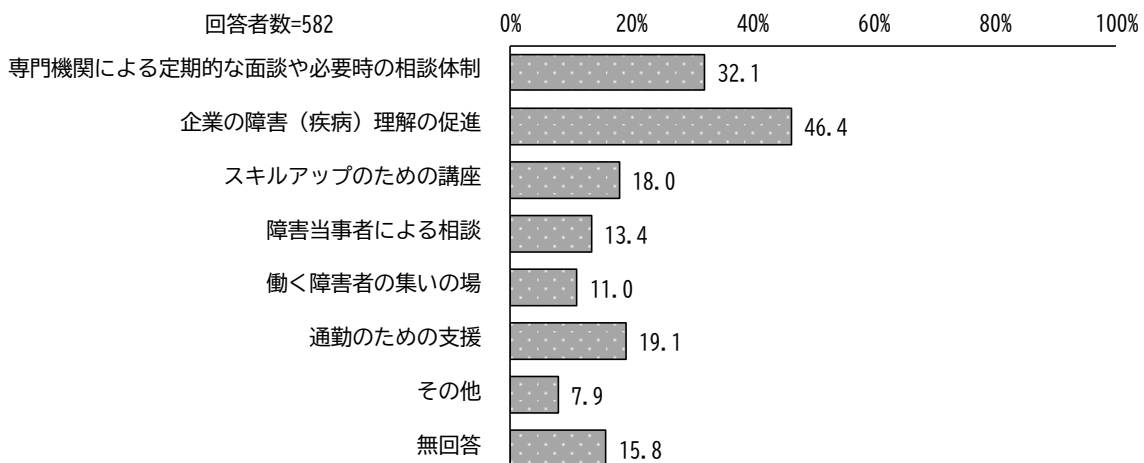
(単位：%)

区分	回答者数（人）	今後も現在の仕事を続けたい	現在働きたいが、今後も働きたい	現在働いているが、やめた	今後も働く予定はない	働けない状況にある	無回答
全体	1,409	28.3	9.1	3.9	28.5	21.5	8.7
18～39歳	202	50.5	19.8	5.4	4.5	16.8	3.0
40～64歳	468	44.4	12.8	6.6	10.0	23.1	3.0
65～69歳	122	24.6	7.4	4.1	36.9	21.3	5.7
70歳以上	601	9.5	3.0	1.3	49.1	21.6	15.5

【問14で「1.」～「3.」のいずれかを選択した方に伺います】

問15 就労継続のために必要と思う支援は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

就労継続のために必要だと思う支援については、「企業の障害（疾病）理解の促進」の割合が46.4%と最も多く、次いで「専門機関による定期的な面談や必要時の相談体制」の割合が32.1%、「通勤のための支援」の割合が19.1%となっています。



【障害種別】

障害種別にみると、身体障害者、精神障害者、難病患者は「企業の障害（疾病）理解の促進」（順に42.9%、58.1%、47.4%）、知的障害者は「専門機関による定期的な面談や必要時の相談体制」（41.5%）が最も多くなっています。

(単位：%)

区分	回答者数（人）	専門機関による定期的な面談や必要時の相談体制	企業の障害（疾病）理解の促進	スキルアップのための講座	障害当事者による相談	働く障害者の集いの場	通勤のための支援	その他	無回答
全体	582	32.1	46.4	18.0	13.4	11.0	19.1	7.9	15.8
身体障害者	233	22.3	42.9	14.2	8.6	9.0	18.5	8.6	18.5
知的障害者	94	41.5	37.2	14.9	27.7	14.9	19.1	3.2	5.3
精神障害者	160	51.9	58.1	33.8	21.9	18.8	24.4	7.5	8.8
難病患者	133	17.3	47.4	12.0	4.5	6.0	13.5	11.3	21.8

【年齢別】

年齢別にみると、18～39歳、40～64歳、65～69歳で「企業の障害（疾病）理解の促進」（順に55.6%、49.5%、36.4%）が最も多くなっています。

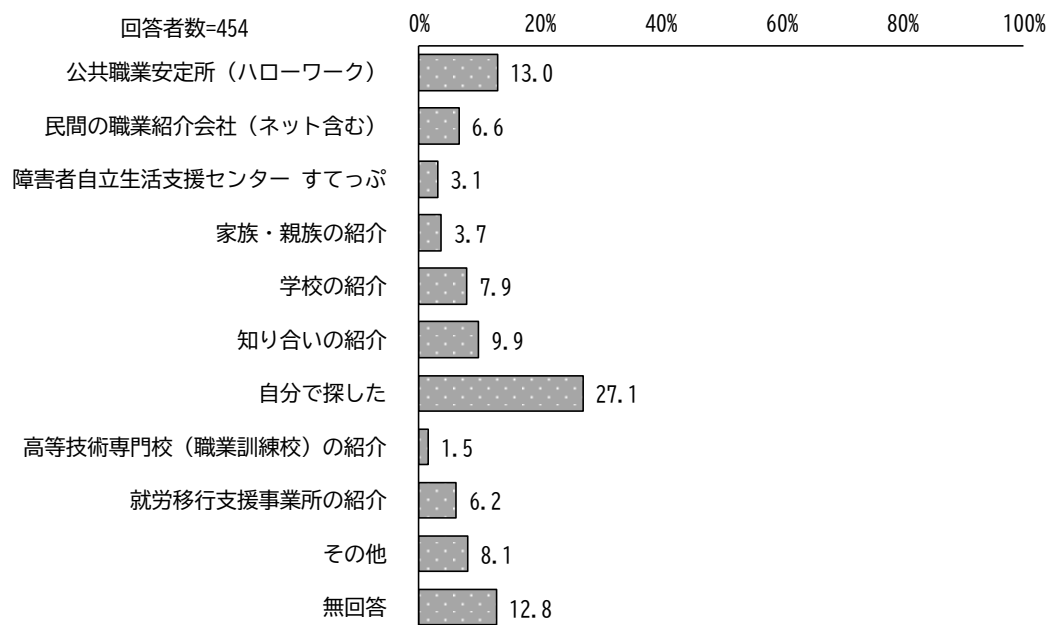
(単位：%)

区分	回答者数（人）	専門機関による定期的な面談や必要時の相談体制	企業の障害（疾病）理解の促進	スキルアップのための講座	障害当事者による相談	働く障害者の集いの場	通勤のための支援	その他	無回答
全体	582	32.1	46.4	18.0	13.4	11.0	19.1	7.9	15.8
18～39歳	153	51.6	55.6	24.2	15.7	13.7	24.2	3.9	6.5
40～64歳	299	30.8	49.5	20.1	13.4	11.4	18.4	9.7	12.4
65～69歳	44	11.4	36.4	6.8	9.1	15.9	13.6	13.6	18.2
70歳以上	83	13.3	22.9	6.0	10.8	2.4	14.5	6.0	44.6

【問14で「1.」または「3.」を選択した方に伺います】

問16 あなたは、現在の仕事をどのように見つけましたか。(1つに○)

現在の仕事をどのように見つけたかについては、「自分で探した」の割合が27.1%と最も多く、次いで「公共職業安定所（ハローワーク）」の割合が13.0%、「知り合いの紹介」の割合が9.9%となっています。



【障害種別】

障害種別にみると、身体障害者、精神障害者、難病患者は「自分で探した」(順に 28.0%、22.9%、38.1%)、知的障害者は「学校の紹介」(28.2%)が最も多くなっています。

(単位：%)

区分	回答者数(人)	公共職業安定所 (ハローワーク)	民間の職業紹介会社 (ネット含む)	障害者自立生活支援 センター	家族・親族の紹介	学校の紹介	知り合いの紹介	自分で探した	高等技術専門学校 (職業訓練校)の紹介	就労移行支援事業所の 紹介	その他	無回答
全体	454	13.0	6.6	3.1	3.7	7.9	9.9	27.1	1.5	6.2	8.1	12.8
身体障害者	175	9.1	6.9	3.4	5.1	4.6	13.1	28.0	2.3	4.0	7.4	16.0
知的障害者	85	11.8	3.5	8.2	3.5	28.2	4.7	7.1	2.4	12.9	4.7	12.9
精神障害者	109	19.3	11.0	1.8	0.9	5.5	7.3	22.9	1.8	11.0	11.0	7.3
難病患者	118	10.2	4.2	0.8	5.9	1.7	13.6	38.1	0.8	-	10.2	14.4

【年齢別】

年齢別にみると、18～39歳で「学校の紹介」(23.9%)、40～64歳、65～69歳、70歳以上で「自分で探した」(順に 26.4%、37.1%、33.8%)が最も多くなっています。

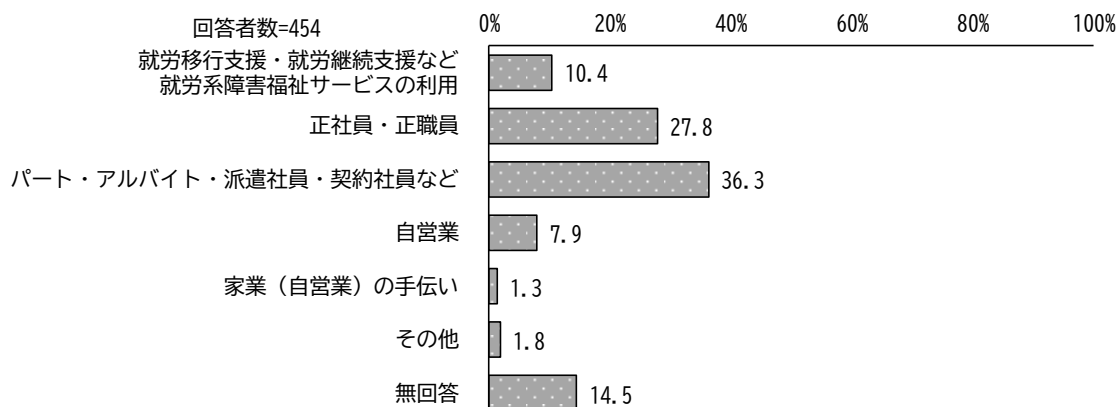
(単位：%)

区分	回答者数(人)	公共職業安定所 (ハローワーク)	民間の職業紹介会社 (ネット含む)	障害者自立生活支援 センター	家族・親族の紹介	学校の紹介	知り合いの紹介	自分で探した	高等技術専門学校 (職業訓練校)の紹介	就労移行支援事業所の 紹介	その他	無回答
全体	454	13.0	6.6	3.1	3.7	7.9	9.9	27.1	1.5	6.2	8.1	12.8
18～39歳	113	12.4	11.5	3.5	1.8	23.9	5.3	21.2	1.8	8.0	3.5	7.1
40～64歳	239	15.5	7.1	2.9	5.0	3.3	11.3	26.4	1.7	6.3	9.6	10.9
65～69歳	35	14.3	-	5.7	2.9	2.9	8.6	37.1	-	2.9	8.6	17.1
70歳以上	65	4.6	-	1.5	1.5	-	13.8	33.8	1.5	4.6	10.8	27.7

【問14で「1.」または「3.」を選択した方に伺います】

問17 あなたの現在の働き方について教えてください。(1つに○)

現在の働き方については、「パート・アルバイト・派遣社員・契約社員など」の割合が36.3%と最も多く、次いで「正社員・正職員」の割合が27.8%、「就労移行支援・就労継続支援など就労系障害福祉サービスの利用」の割合が10.4%となっています。



【障害種別】

障害種別にみると、身体障害者、精神障害者、難病患者は「パート・アルバイト・派遣社員・契約社員など」(順に38.9%、41.3%、34.7%)、知的障害者は「就労移行支援・就労継続支援など就労系障害福祉サービスの利用」(34.1%)が最も多くなっています。

(単位：%)

区分	回答者数(人)	就労移行支援・就労継続支援など就労系障害福祉サービスの利用	正社員・正職員	パート・アルバイト・派遣社員・契約社員など	自営業	家業(自営業)の手伝い	その他	無回答
全体	454	10.4	27.8	36.3	7.9	1.3	1.8	14.5
身体障害者	175	5.7	26.3	38.9	12.6	1.1	1.1	14.3
知的障害者	85	34.1	20.0	30.6	-	1.2	2.4	11.8
精神障害者	109	13.8	26.6	41.3	3.7	1.8	0.9	11.9
難病患者	118	1.7	30.5	34.7	13.6	1.7	2.5	15.3

【年齢別】

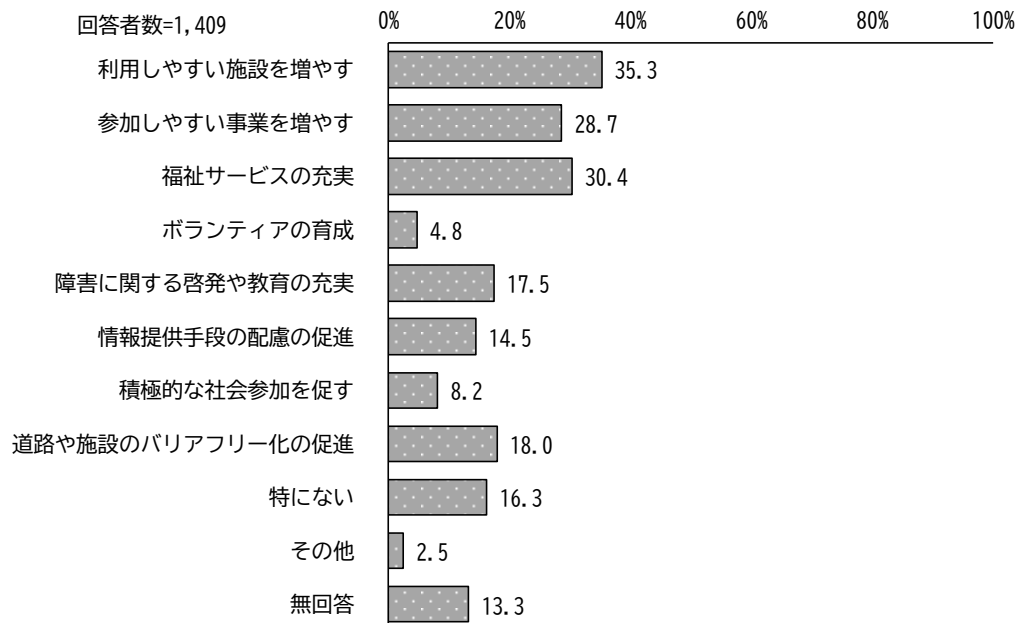
年齢別にみると、18～39歳、65～69歳、70歳以上で「パート・アルバイト・派遣社員・契約社員など」（順に38.9%、45.7%、43.1%）、40～64歳で「正社員・正職員」（34.3%）が最も多くなっています。

（単位：％）

区分	回答者数（人）	就労移行支援・就労継続支援・障害福祉サービスなどの利用	正社員・正職員	パート・アルバイト・派遣社員・契約社員など	自営業	家業（自営業）の手伝い	その他	無回答
全体	454	10.4	27.8	36.3	7.9	1.3	1.8	14.5
18～39歳	113	14.2	31.0	38.9	-	-	1.8	14.2
40～64歳	239	10.0	34.3	32.2	6.7	1.3	1.7	13.8
65～69歳	35	8.6	14.3	45.7	8.6	-	-	22.9
70歳以上	65	6.2	4.6	43.1	24.6	4.6	3.1	13.8

問 18 障害のある人が、積極的に社会参加できるようになるために、必要だと思うことはどのようなことですか。(あてはまる番号3つまでに○)

積極的に社会参加できるようになるために、必要だと思うことについては、「利用しやすい施設を増やす」の割合が35.3%と最も多く、次いで「福祉サービスの充実」の割合が30.4%、「参加しやすい事業を増やす」の割合が28.7%となっています。



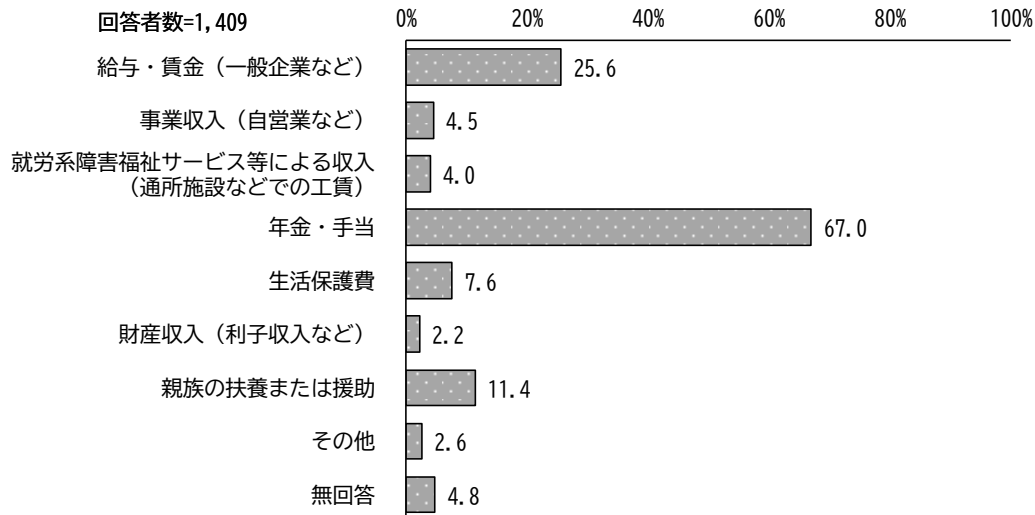
【障害の種類又は病名別】

(単位：%)

区分	回答者数(人)	利用しやすい施設を増やす	参加しやすい事業を増やす	福祉サービスの充実	ボランティアの育成	障害に関する啓発や教育の充実	情報提供手段の配慮の促進	積極的な社会参加を促す	道路や施設のバリアフリー化の促進	特になし	その他	無回答
全体	1,409	35.3	28.7	30.4	4.8	17.5	14.5	8.2	18.0	16.3	2.5	13.3
肢体不自由	359	35.4	27.6	26.7	5.6	12.5	12.8	6.1	29.2	15.6	1.7	16.4
視覚障害	67	20.9	17.9	17.9	13.4	10.4	11.9	6.0	31.3	22.4	3.0	14.9
聴覚障害	79	32.9	24.1	29.1	5.1	12.7	16.5	2.5	13.9	17.7	1.3	20.3
音声・言語障害	28	42.9	7.1	28.6	3.6	21.4	14.3	3.6	14.3	17.9	-	21.4
内部障害	228	34.6	30.3	29.4	3.5	14.5	12.7	8.8	18.0	19.7	1.8	14.0
統合失調症	118	44.9	30.5	44.9	2.5	21.2	16.1	11.9	3.4	14.4	0.8	8.5
うつ病	139	36.7	30.9	33.1	5.8	30.2	18.0	7.9	7.9	15.1	5.8	13.7
双極性障害	50	38.0	26.0	32.0	4.0	36.0	20.0	4.0	8.0	10.0	8.0	10.0
神経症	26	34.6	38.5	38.5	-	23.1	15.4	3.8	15.4	7.7	3.8	23.1
睡眠障害	78	33.3	28.2	32.1	9.0	35.9	12.8	10.3	7.7	14.1	1.3	14.1
その他	48	50.0	41.7	39.6	2.1	22.9	16.7	4.2	12.5	6.3	8.3	10.4
知的障害	130	51.5	27.7	40.8	5.4	21.5	16.9	9.2	8.5	13.8	0.8	9.2
発達障害	73	38.4	39.7	38.4	2.7	38.4	27.4	12.3	9.6	5.5	5.5	4.1
てんかん	42	47.6	28.6	40.5	11.9	21.4	26.2	2.4	14.3	19.0	7.1	2.4
高次脳機能障害	28	46.4	35.7	42.9	-	14.3	10.7	10.7	14.3	14.3	-	10.7
難病	188	33.5	31.4	31.4	5.3	19.7	13.8	10.1	23.4	13.8	4.8	7.4

問 19 あなたの収入は次のうちどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

収入については、「年金・手当」の割合が67.0%と最も多く、次いで「給与・賃金(一般企業など)」の割合が25.6%、「親族の扶養または援助」の割合が11.4%となっています。



【障害種別】

障害種別にみると、全ての障害で「年金・手当」が最も多くなっています。

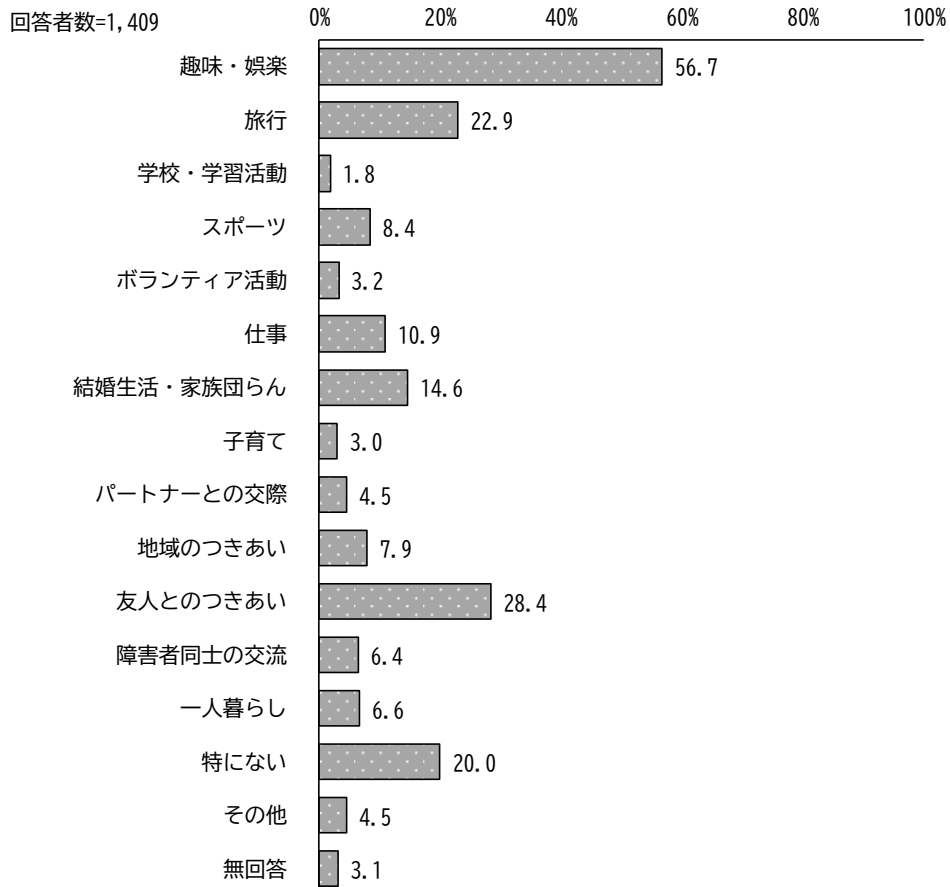
(単位：%)

区分	回答者数(人)	給与・賃金(一般企業など)	事業収入(自営業など)	就労系障害福祉サービス等による収入(通所施設などでの工賃)	年金・手当	生活保護費	財産収入(利子収入など)	親族の扶養または援助	その他	無回答
全体	1,409	25.6	4.5	4.0	67.0	7.6	2.2	11.4	2.6	4.8
身体障害者	752	19.1	4.8	1.6	73.4	6.4	2.4	9.0	2.8	5.1
知的障害者	131	42.0	-	19.8	64.1	2.3	0.8	10.7	3.8	4.6
精神障害者	299	29.1	2.7	9.0	58.5	17.7	2.0	19.7	4.7	3.3
難病患者	273	33.3	9.2	1.1	63.0	2.6	1.8	9.2	1.5	4.0

(6) 日頃の活動について

問 20 楽しみや生きがいは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

楽しみや生きがいについては、「趣味・娯楽」の割合が56.7%と最も多く、次いで「友人とのつきあい」の割合が28.4%、「旅行」の割合が22.9%となっています。



【障害種別】

障害種別にみると、全ての障害で「趣味・娯楽」が最も多くなっています。

(単位：%)

区分	回答者数(人)	趣味・娯楽	旅行	学校・学習活動	スポーツ	ボランティア活動	仕事	結婚生活・家族団らん	子育て	パートナーとの交際	地域のつきあい	友人とのつきあい	障害者同士の交流	一人暮らし	特にない	その他	無回答
全体	1,409	56.7	22.9	1.8	8.4	3.2	10.9	14.6	3.0	4.5	7.9	28.4	6.4	6.6	20.0	4.5	3.1
身体障害者	752	52.7	24.5	1.1	7.4	4.4	8.0	14.0	2.0	2.9	9.0	30.3	5.3	6.6	22.1	3.7	2.9
知的障害者	131	72.5	22.1	2.3	13.7	-	19.1	6.9	-	6.9	4.6	18.3	19.8	2.3	8.4	3.8	-
精神障害者	299	61.2	16.4	4.3	7.7	3.0	14.7	15.7	3.3	5.7	3.7	24.4	9.0	7.4	22.1	8.4	1.3
難病患者	273	57.5	28.2	1.1	9.5	2.6	13.6	19.8	5.9	5.5	8.1	30.4	3.3	6.2	16.1	4.4	2.2

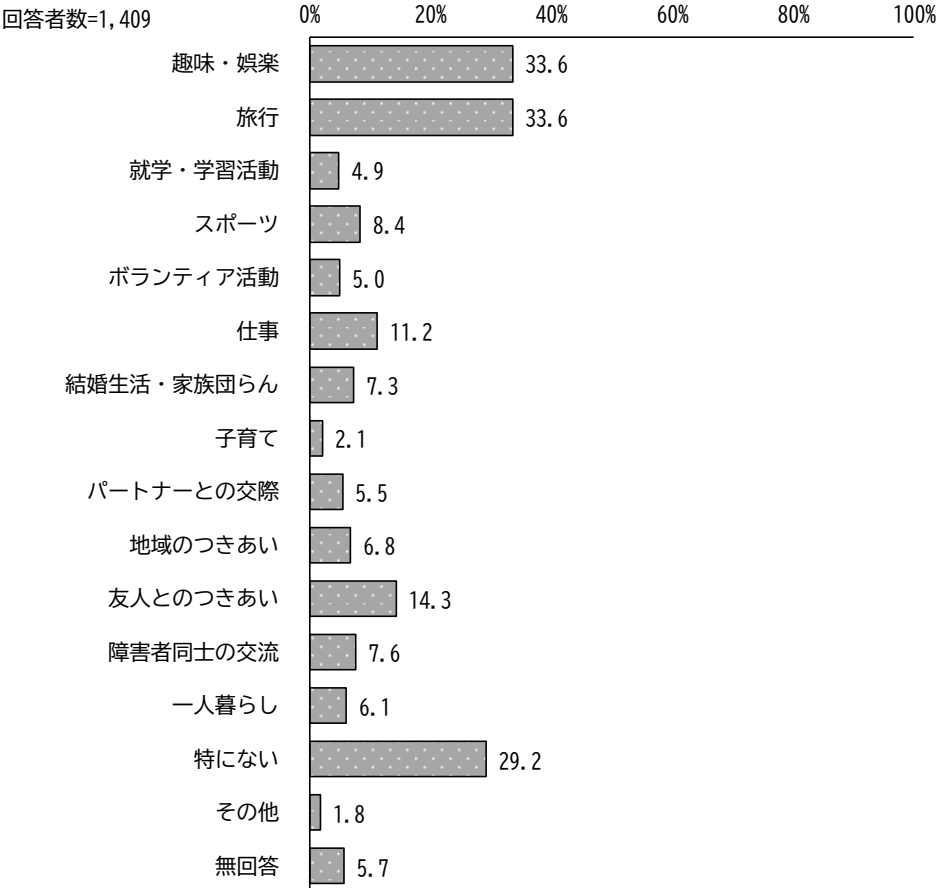
【年齢別】

(単位：%)

区分	回答者数(人)	趣味・娯楽	旅行	学校・学習活動	スポーツ	ボランティア活動	仕事	結婚生活・家族団らん	子育て	パートナーとの交際	地域のつきあい	友人とのつきあい	障害者同士の交流	一人暮らし	特にない	その他	無回答
全体	1,409	56.7	22.9	1.8	8.4	3.2	10.9	14.6	3.0	4.5	7.9	28.4	6.4	6.6	20.0	4.5	3.1
18～39歳	202	75.7	21.8	5.0	10.9	0.5	15.8	13.4	5.0	12.9	4.5	32.2	9.4	3.5	8.4	3.5	-
40～64歳	468	59.8	24.1	2.6	9.8	3.0	17.7	19.2	5.1	4.7	4.7	24.1	7.3	6.8	19.0	6.6	1.7
65～69歳	122	58.2	29.5	1.6	7.4	2.5	10.7	16.4	2.5	2.5	5.7	26.2	5.7	7.4	22.1	4.9	-
70歳以上	601	48.1	21.3	0.2	6.8	4.5	4.2	11.3	0.8	2.0	12.0	30.9	4.7	7.3	24.1	3.3	5.2

問 21 今後やってみたいことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

今後やってみたいことについては、「趣味・娯楽」、「旅行」の割合がともに 33.6%と最も多く、次いで「特にない」の割合が 29.2%、「友人とのつきあい」の割合が 14.3%となっています。



【障害種別】

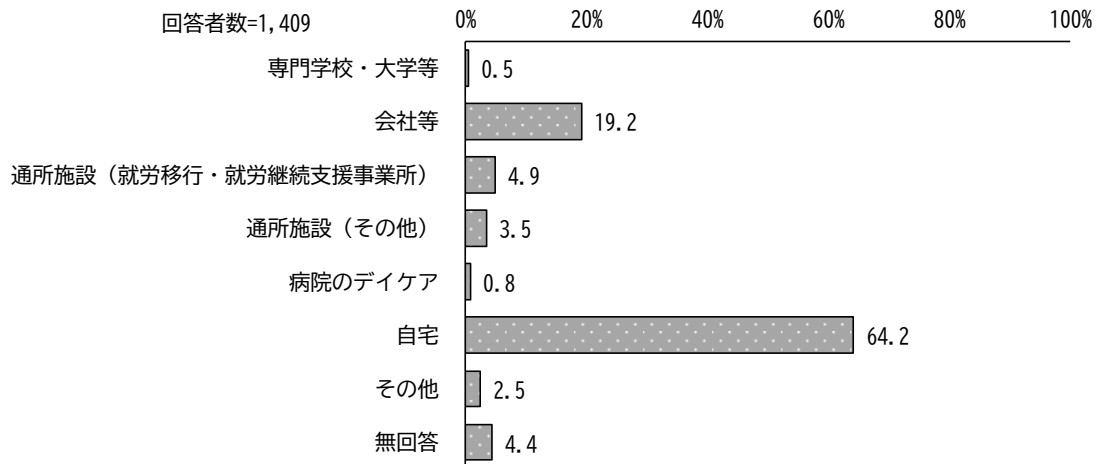
障害種別にみると、身体障害者「特にない」(35.0%)、知的障害者、精神障害者は「趣味・娯楽」(順に 48.9%、40.5%)、難病患者は「旅行」(34.8%)が最も多くなっています。

(単位：%)

区分	回答者数(人)	趣味・娯楽	旅行	就学・学習活動	スポーツ	ボランティア活動	仕事	結婚生活・家族団らん	子育て	パートナーとの交際	地域のつきあい	友人とのつきあい	障害者同士の交流	一人暮らし	特にない	その他	無回答
全体	1,409	33.6	33.6	4.9	8.4	5.0	11.2	7.3	2.1	5.5	6.8	14.3	7.6	6.1	29.2	1.8	5.7
身体障害者	752	29.3	32.2	2.9	6.9	5.1	7.6	5.1	0.8	4.1	5.6	12.8	6.0	3.7	35.0	2.1	5.9
知的障害者	131	48.9	35.1	0.8	12.2	1.5	13.7	5.3	3.8	3.1	5.3	6.9	15.3	16.0	20.6	0.8	2.3
精神障害者	299	40.5	36.5	12.0	11.4	7.0	21.4	13.4	3.7	12.0	6.4	21.4	11.0	11.7	21.1	2.7	2.7
難病患者	273	32.2	34.8	4.8	8.4	7.0	10.3	8.8	2.2	5.1	8.4	10.3	8.1	2.2	30.8	1.8	5.5

問 22 日中は主にどこで過ごしていますか。(1つに○)

日中に過ごす場所については、「自宅」の割合が64.2%と最も多く、次いで「会社等」の割合が19.2%となっています。



【障害種別】

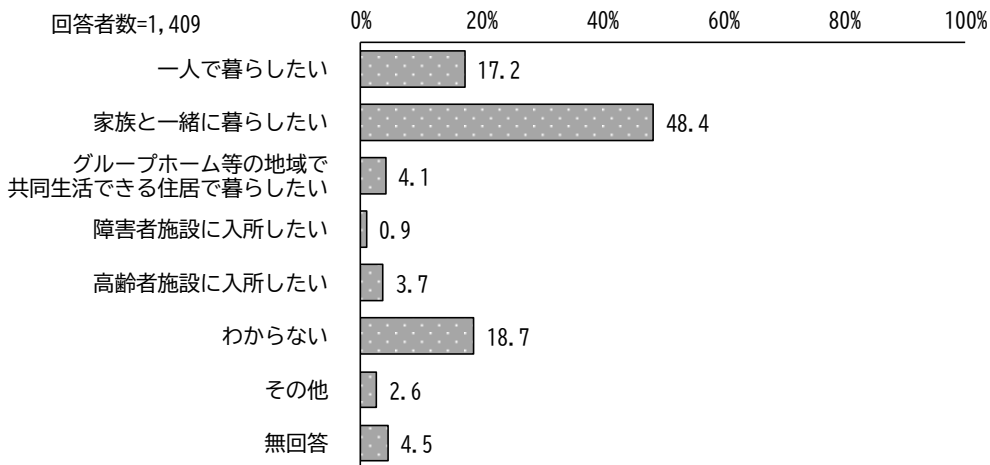
障害種別にみると、身体障害者、精神障害者、難病患者は「自宅」(順に73.7%、59.5%、61.5%)、知的障害者は「会社等」(31.3%)が最も多くなっています。

(単位：%)

区分	回答者数 (人)	専門学校・大学等	会社等	通所施設 (就労移行・就労継続支援事業所)	通所施設 (その他)	病院のデイケア	自宅	その他	無回答
全体	1,409	0.5	19.2	4.9	3.5	0.8	64.2	2.5	4.4
身体障害者	752	0.4	14.5	1.6	3.5	0.5	73.7	1.9	4.0
知的障害者	131	0.8	31.3	29.8	13.0	0.8	19.8	1.5	3.1
精神障害者	299	0.3	19.4	9.4	2.0	2.3	59.5	4.7	2.3
難病患者	273	0.4	27.8	0.7	1.8	0.4	61.5	2.2	5.1

問 23 あなたは今後、どのように暮らしたいですか。(1つに○)

今後、どのように暮らしたいかについては、「家族と一緒に暮らしたい」の割合が48.4%と最も多く、次いで「わからない」の割合が18.7%、「一人で暮らしたい」の割合が17.2%となっています。



【障害種別】

障害種別にみると、全ての障害で「家族と一緒に暮らしたい」が最も多くなっています。

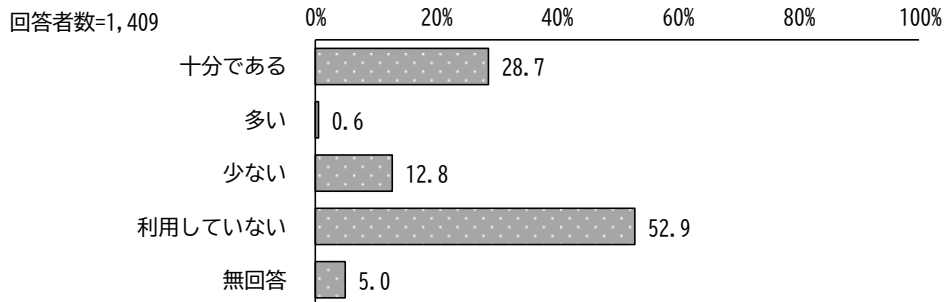
(単位：%)

区分	回答者数(人)	一人で暮らしたい	家族と一緒に暮らしたい	グループホーム等の地域で共同生活できる住居で暮らしたい	障害者施設に入所したい	高齢者施設に入所したい	わからない	その他	無回答
全体	1,409	17.2	48.4	4.1	0.9	3.7	18.7	2.6	4.5
身体障害者	752	16.0	53.1	2.7	0.8	3.9	16.4	2.5	4.8
知的障害者	131	13.7	27.5	26.0	6.1	2.3	21.4	0.8	2.3
精神障害者	299	22.7	40.8	3.7	0.3	1.7	25.1	3.7	2.0
難病患者	273	14.3	54.9	1.1	-	2.9	20.1	1.1	5.5

(7) 福祉サービスについて

問 24 現在、利用しているサービス量は十分だと思いますか。(1つに○)

現在利用しているサービス量について、「利用していない」の割合が52.9%と最も多く、次いで「十分である」の割合が28.7%、「少ない」の割合が12.8%となっています。



【障害種別】

障害種別にみると、全ての障害で「利用していない」が最も多くなっています。

(単位：%)

区分	回答者数(人)	十分である	多い	少ない	利用していない	無回答
全体	1,409	28.7	0.6	12.8	52.9	5.0
身体障害者	752	29.3	0.4	11.0	53.5	5.9
知的障害者	131	32.1	1.5	26.0	37.4	3.1
精神障害者	299	34.1	0.7	14.7	48.5	2.0
難病患者	273	29.3	1.5	11.7	55.3	2.2

【障害の種類又は病名別】

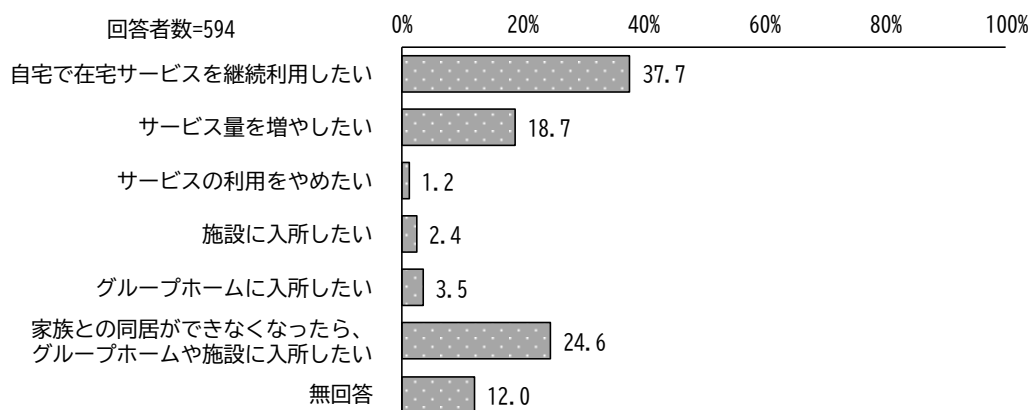
(単位：%)

区分	回答者数(人)	十分である	多い	少ない	利用していない	無回答
全体	1,409	28.7	0.6	12.8	52.9	5.0
肢体不自由	359	30.1	0.3	12.0	52.1	5.6
視覚障害	67	31.3	-	17.9	46.3	4.5
聴覚障害	79	20.3	1.3	11.4	57.0	10.1
音声・言語障害	28	28.6	-	14.3	46.4	10.7
内部障害	228	28.1	0.4	10.1	56.6	4.8
統合失調症	118	44.9	1.7	8.5	44.1	0.8
うつ病	139	28.8	0.7	15.1	53.2	2.2
双極性障害	50	32.0	2.0	14.0	46.0	6.0
神経症	26	26.9	-	26.9	42.3	3.8
睡眠障害	78	20.5	2.6	19.2	53.8	3.8
その他	48	22.9	2.1	18.8	52.1	4.2
知的障害	130	30.8	0.8	23.8	41.5	3.1
発達障害	73	31.5	2.7	26.0	37.0	2.7
てんかん	42	31.0	-	21.4	47.6	-
高次脳機能障害	28	53.6	-	3.6	42.9	-
難病	188	26.6	0.5	10.6	60.1	2.1

【問 24 で「1.」～「3.」のいずれかを選択した方に伺います】

問 25 今後、サービスをどのように利用したいですか。(1つに○)

今後のサービス利用については、「自宅で在宅サービスを継続利用したい」の割合が 37.7%と最も多く、次いで「家族との同居ができなくなったら、グループホームや施設に入所したい」の割合が 24.6%、「サービス量を増やしたい」の割合が 18.7%となっています。



【障害種別】

障害種別にみると、身体障害者、精神障害者、難病患者は「自宅で在宅サービスを継続利用したい」(順に 38.9%、39.9%、40.5%)、知的障害者は「家族との同居ができなくなったら、グループホームや施設に入所したい」(33.3%)が最も多くなっています。

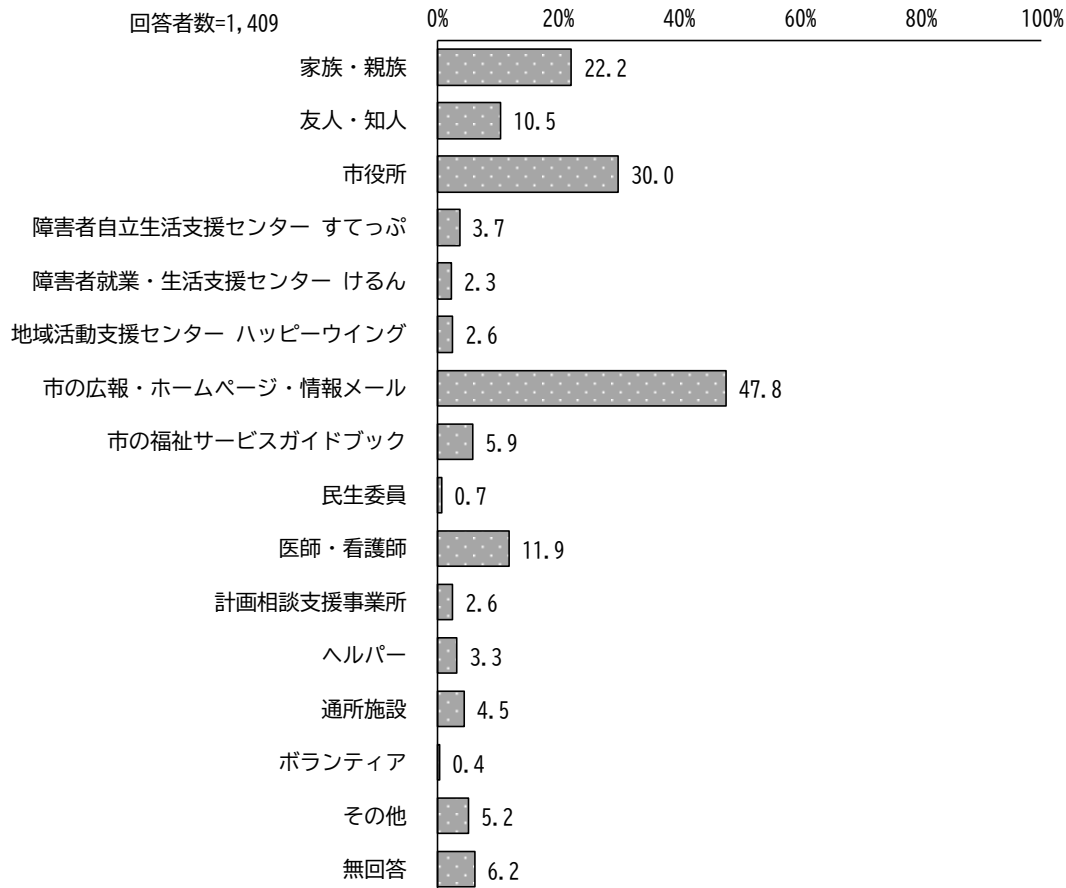
(単位：%)

区分	回答者数(人)	自宅で在宅サービスを継続利用したい	サービス量を増やしたい	サービスの利用をやめたい	施設に入所したい	グループホームに入所したい	家族との同居ができなくなったら、グループホームや施設に入所したい	無回答
全体	594	37.7	18.7	1.2	2.4	3.5	24.6	12.0
身体障害者	306	38.9	18.0	1.3	3.3	2.0	24.5	12.1
知的障害者	78	16.7	25.6	1.3	-	15.4	33.3	7.7
精神障害者	148	39.9	21.6	0.7	2.0	2.7	22.3	10.8
難病患者	116	40.5	15.5	0.9	3.4	0.9	22.4	16.4

問 26 市の行事、福祉、保健に関することは、主に何で知りましたか。

(あてはまる番号すべてに○)

市の行事等の情報源については、「市の広報・ホームページ・情報メール」の割合が47.8%と最も多く、次いで「市役所」の割合が30.0%、「家族・親族」の割合が22.2%となっています。



【障害種別】

障害種別にみると、身体障害者、難病患者は「市の広報・ホームページ・情報メール」(順に 53.9%、49.1%)、知的障害者は「家族・親族」(42.0%)、精神障害者は「市役所」(41.8%)が最も多くなっています。

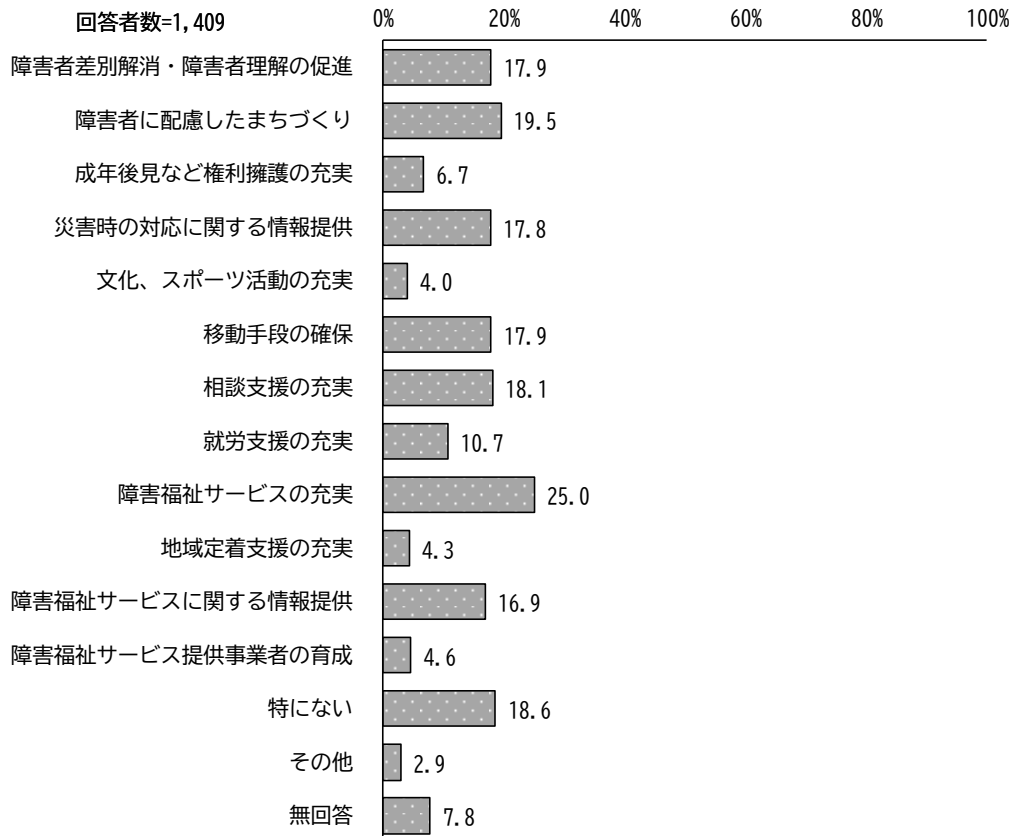
(単位：%)

区分	回答者数(人)	家族・親族	友人・知人	市役所	障害者自立生活支援センター すてつぷ	障害者就業・生活支援センター けるん	地域活動支援センター ハッピーウイング	市の広報・ホームページ・ 情報メール	市の福祉サービスガイドブック
全体	1,409	22.2	10.5	30.0	3.7	2.3	2.6	47.8	5.9
身体障害者	752	19.9	11.8	28.7	1.9	1.1	1.5	53.9	7.8
知的障害者	131	42.0	9.9	30.5	17.6	4.6	-	24.4	3.8
精神障害者	299	28.8	8.0	41.8	6.0	7.0	8.0	37.8	4.3
難病患者	273	17.9	9.2	30.4	1.1	0.4	0.7	49.1	6.2

区分	民生委員	医師・看護師	計画相談支援事業所	ヘルパー	通所施設	ボランティア	その他	無回答
全体	0.7	11.9	2.6	3.3	4.5	0.4	5.2	6.2
身体障害者	0.8	10.9	1.9	3.5	2.9	0.3	4.3	7.2
知的障害者	0.8	2.3	10.7	8.4	18.3	-	6.1	3.8
精神障害者	0.3	12.4	4.0	1.7	6.0	0.3	10.0	2.7
難病患者	0.4	20.5	0.7	2.6	1.5	0.4	3.3	5.9

問 27 今後、市に何を期待しますか。(あてはまる番号3つまで○)

今後、市に期待することについては、「障害福祉サービスの充実」の割合が25.0%と最も多く、次いで「障害者に配慮したまちづくり」の割合が19.5%、「特にない」の割合が18.6%となっています。



【障害種別】

障害種別にみると、身体障害者、知的障害者、難病患者は「障害福祉サービスの充実」(順に 24.1%、32.1%、24.2%)、精神障害者は「障害者差別解消・障害者理解の促進」(30.8%)が最も多くなっています。

(単位：%)

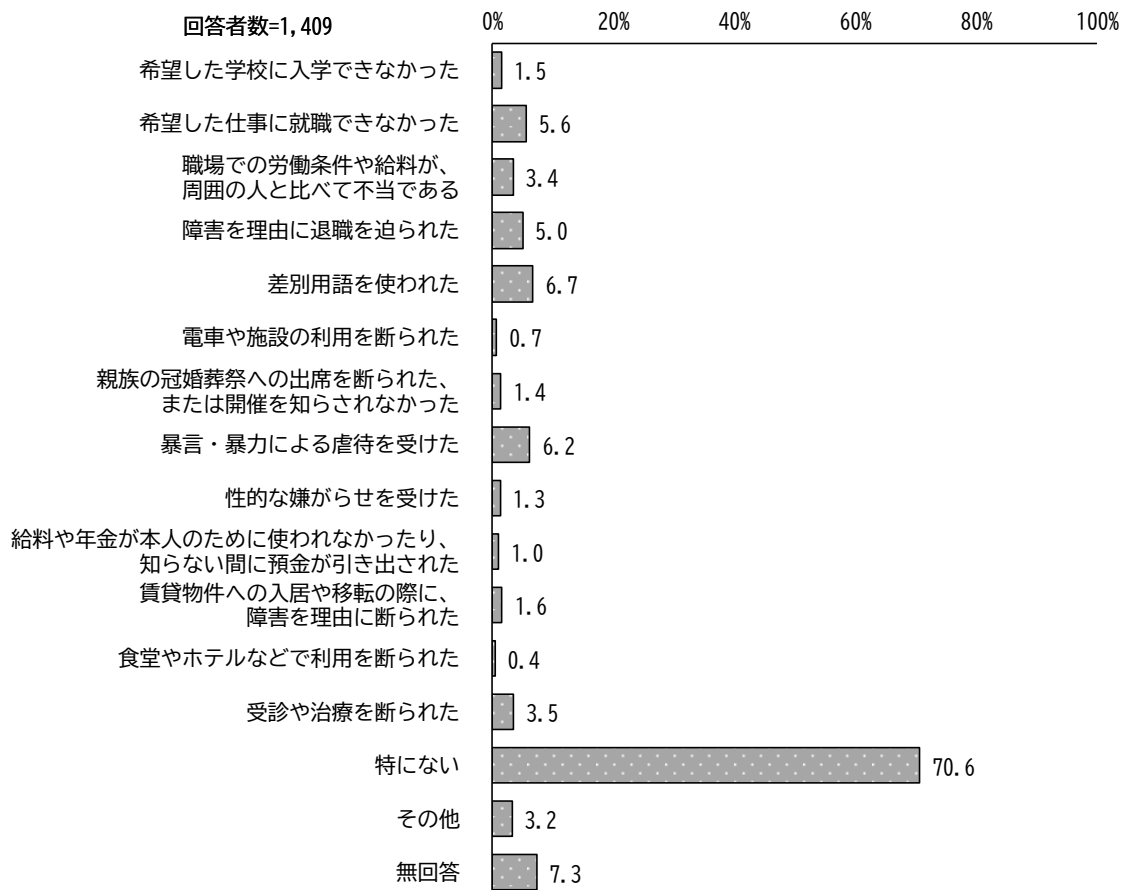
区分	回答者数(人)	障害者差別解消・障害者理解の促進	障害者に配慮したまちづくり	成年後見など権利擁護の充実	災害時の対応に関する情報提供	文化、スポーツ活動の充実	移動手段の確保	相談支援の充実	就労支援の充実
全体	1,409	17.9	19.5	6.7	17.8	4.0	17.9	18.1	10.7
身体障害者	752	14.6	21.8	4.8	19.8	3.5	20.7	13.8	7.3
知的障害者	131	29.0	26.0	16.0	13.7	3.8	9.2	18.3	10.7
精神障害者	299	30.8	19.7	9.4	14.0	5.0	15.1	29.8	22.7
難病患者	273	11.7	17.6	4.8	19.0	3.7	17.2	19.4	9.2

区分	障害福祉サービスの充実	地域定着支援の充実	障害福祉サービスに関する情報提供	障害福祉サービス提供事業者の育成	特にない	その他	無回答
全体	25.0	4.3	16.9	4.6	18.6	2.9	7.8
身体障害者	24.1	4.3	18.9	3.9	19.9	2.4	8.4
知的障害者	32.1	2.3	14.5	9.9	19.8	1.5	5.3
精神障害者	30.4	3.0	17.1	5.0	8.7	4.3	5.7
難病患者	24.2	8.1	14.7	2.9	23.4	2.6	6.6

(8) 権利擁護について

問 28 障害又は難病が原因で人権を損なう扱いを受けた経験がありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

人権を損なう扱いを受けた経験については、「特にない」の割合が70.6%と最も多く、次いで「差別用語が使われた」の割合が6.7%、「暴言・暴力による虐待を受けた」の割合が6.2%となっています。



【障害種別】

障害種別にみると、全ての障害で「特にない」が最も多くなっています。

(単位：%)

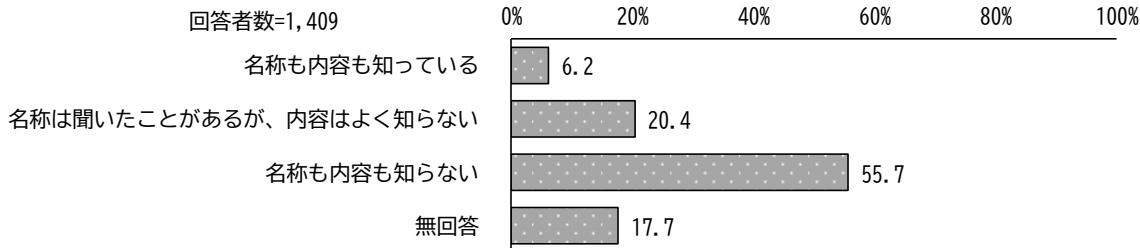
区分	回答者数(人)	希望した学校に入学できなかった	希望した仕事に就職できなかった	職場での労働条件や給料が、周囲の人と比べて不当である	障害を理由に退職を迫られた	差別用語が使われた	電車や施設の利用を断られた	親族の冠婚葬祭への出席を断られた、または開催を知らされなかった	暴言・暴力による虐待を受けた
全体	1,409	1.5	5.6	3.4	5.0	6.7	0.7	1.4	6.2
身体障害者	752	1.5	4.1	2.0	4.5	4.5	0.8	1.1	3.9
知的障害者	131	3.1	3.8	5.3	6.9	11.5	3.1	1.5	6.9
精神障害者	299	3.0	14.4	9.7	11.0	15.4	1.3	3.7	18.4
難病患者	273	0.7	3.3	1.5	4.8	3.7	0.4	0.4	2.2

区分	性的な嫌がらせを受けた	給料や年金が本人のため間に使われなかったり、本人の知らない間に引き出された	賃、貸物件への入居や移転の際に、障害を理由に断られた	食堂やホテルなどで利用を断られた	受診や治療を断られた	特にない	その他	無回答
全体	1.3	1.0	1.6	0.4	3.5	70.6	3.2	7.3
身体障害者	0.4	0.3	1.3	0.7	3.6	74.7	1.9	7.7
知的障害者	-	-	-	0.8	3.1	66.4	3.1	6.9
精神障害者	5.4	3.3	3.7	0.3	5.4	48.5	7.7	4.7
難病患者	-	-	-	0.7	2.6	81.0	1.8	5.1

問 29 判断能力が十分でない方の権利を守る事業として、「地域福祉権利擁護事業」や「成年後見制度」がありますが、ご存じでしたか。(それぞれ1つに○)

① 地域福祉権利擁護事業

地域福祉権利擁護については、「名称も内容も知らない」の割合が55.7%と最も多く、次いで「名称は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」の割合が20.4%、「名称も内容も知っている」の割合が6.2%となっています。



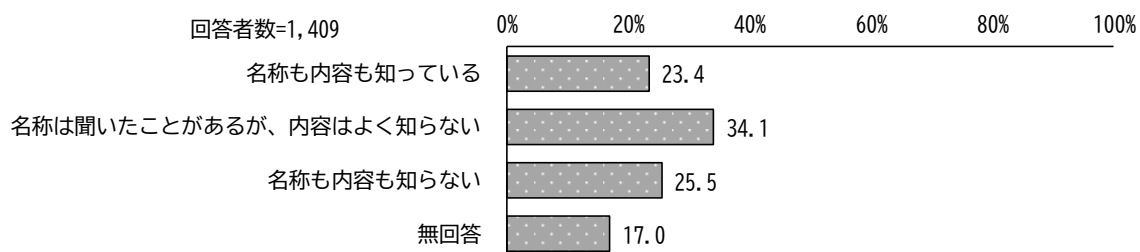
【障害種別】

(単位：%)

区分	回答者数(人)	名称も内容も知っている	名称は聞いたことがあるが、内容はよく知らない	名称も内容も知らない	無回答
全体	1,409	6.2	20.4	55.7	17.7
身体障害者	752	6.8	23.5	51.9	17.8
知的障害者	131	8.4	20.6	53.4	17.6
精神障害者	299	5.7	11.7	67.6	15.1
難病患者	273	5.5	23.8	55.3	15.4

②成年後見制度

成年後見制度については、「名称は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」の割合が34.1%と最も多く、次いで「名称も内容も知らない」の割合が25.5%、「名称も内容も知っている」の割合が23.4%となっています。



【障害種別】

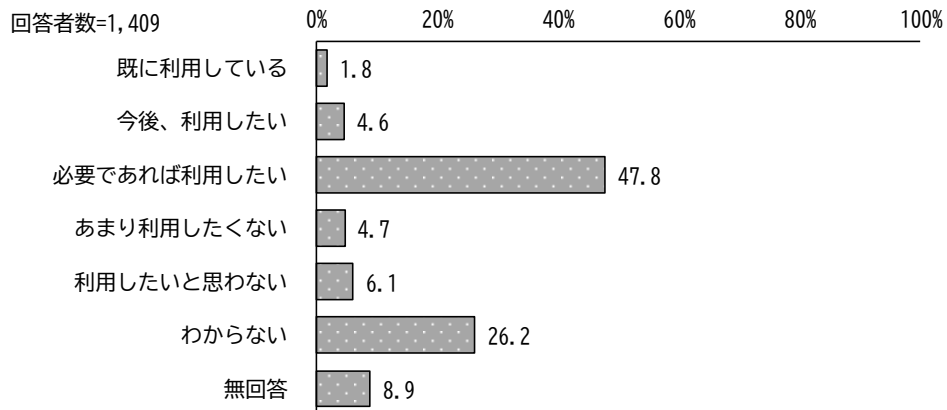
(単位：%)

区分	回答者数(人)	名称も内容も知っている	名称は聞いたことがあるが、内容はよく知らない	名称も内容も知らない	無回答
全体	1,409	23.4	34.1	25.5	17.0
身体障害者	752	24.6	36.7	21.8	16.9
知的障害者	131	19.1	24.4	41.2	15.3
精神障害者	299	19.4	34.1	31.1	15.4
難病患者	273	24.2	39.9	19.8	16.1

問 30 今後、あなたやご家族が、判断能力が十分でないなどの理由で支援が必要になった場合、それぞれの制度を利用したいと思いますか。
最もあてはまるものをそれぞれ1つずつお選びください。(それぞれ1つに〇)

① 地域福祉権利擁護事業

地域福祉権利擁護事業については、「必要であれば利用したい」の割合が47.8%と最も多く、次いで「わからない」の割合が26.2%、「利用したいと思わない」の割合が6.1%となっています。



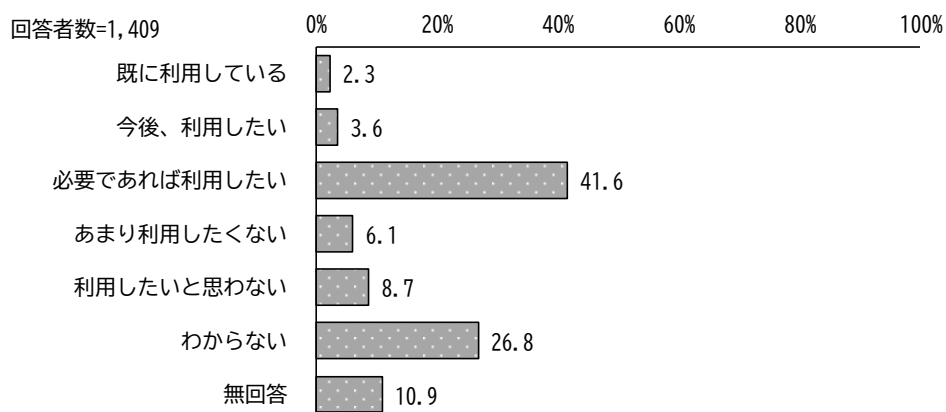
【障害種別】

(単位：%)

区分	回答者数(人)	既に利用している	今後、利用したい	必要であれば利用したい	あまり利用したくない	利用したいと思わない	わからない	無回答
全体	1,409	1.8	4.6	47.8	4.7	6.1	26.2	8.9
身体障害者	752	1.6	3.6	48.3	4.5	6.8	25.3	10.0
知的障害者	131	1.5	8.4	44.3	2.3	3.8	34.4	5.3
精神障害者	299	1.7	5.7	47.8	8.0	4.0	28.4	4.3
難病患者	273	2.2	6.6	52.7	4.0	6.2	22.0	6.2

②成年後見制度

成年後見制度については、「必要であれば利用したい」の割合が41.6%と最も多く、次いで「わからない」の割合が26.8%、「利用したいと思わない」の割合が8.7%となっています。



【障害種別】

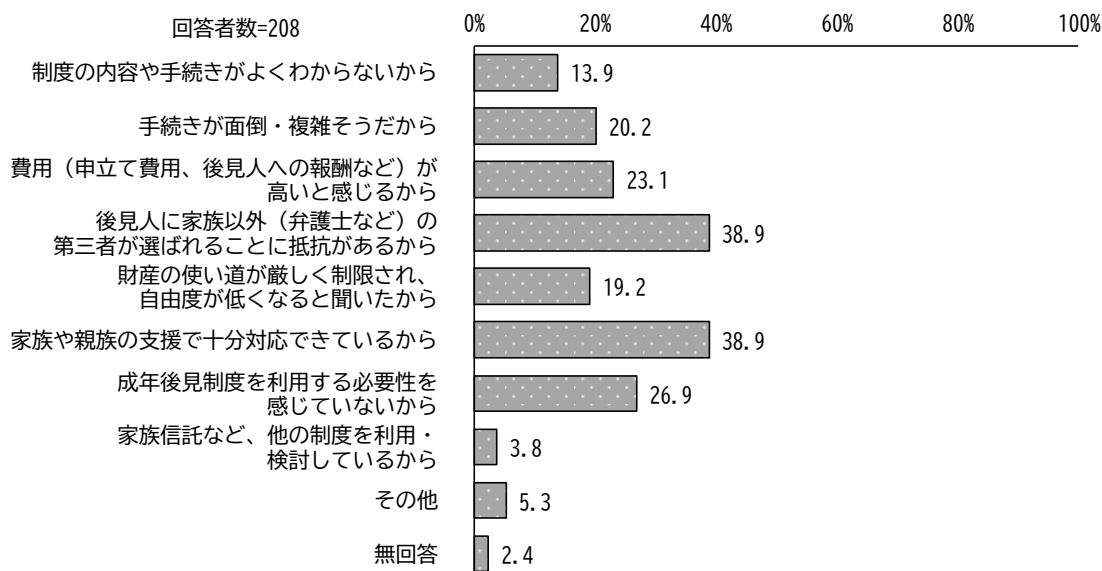
(単位：%)

区分	回答者数(人)	既に利用している	今後、利用したい	必要であれば利用したい	あまり利用したくない	利用したいと思わない	わからない	無回答
全体	1,409	2.3	3.6	41.6	6.1	8.7	26.8	10.9
身体障害者	752	1.6	2.5	41.9	5.5	8.8	25.9	13.8
知的障害者	131	6.9	9.9	38.2	4.6	5.3	32.8	2.3
精神障害者	299	2.7	4.7	43.1	9.0	7.7	27.4	5.4
難病患者	273	-	4.8	48.4	4.4	11.7	21.6	9.2

【問30②で「4.」または「5.」を選択した方に伺います】

問31 成年後見制度を利用したくない理由はなんですか。(あてはまる番号すべてに○)

成年後見制度を利用したくない理由については、「後見人に家族以外(弁護士など)の第三者が選ばれることに抵抗があるから」、「家族や親族の支援で十分対応できているから」の割合がともに38.9%と最も多く、次いで「成年後見制度を利用する必要性を感じていないから」の割合が26.9%、「費用(申立て費用、後見人への報酬など)が高いと感じるから」の割合が23.1%となっています。



【障害種別】

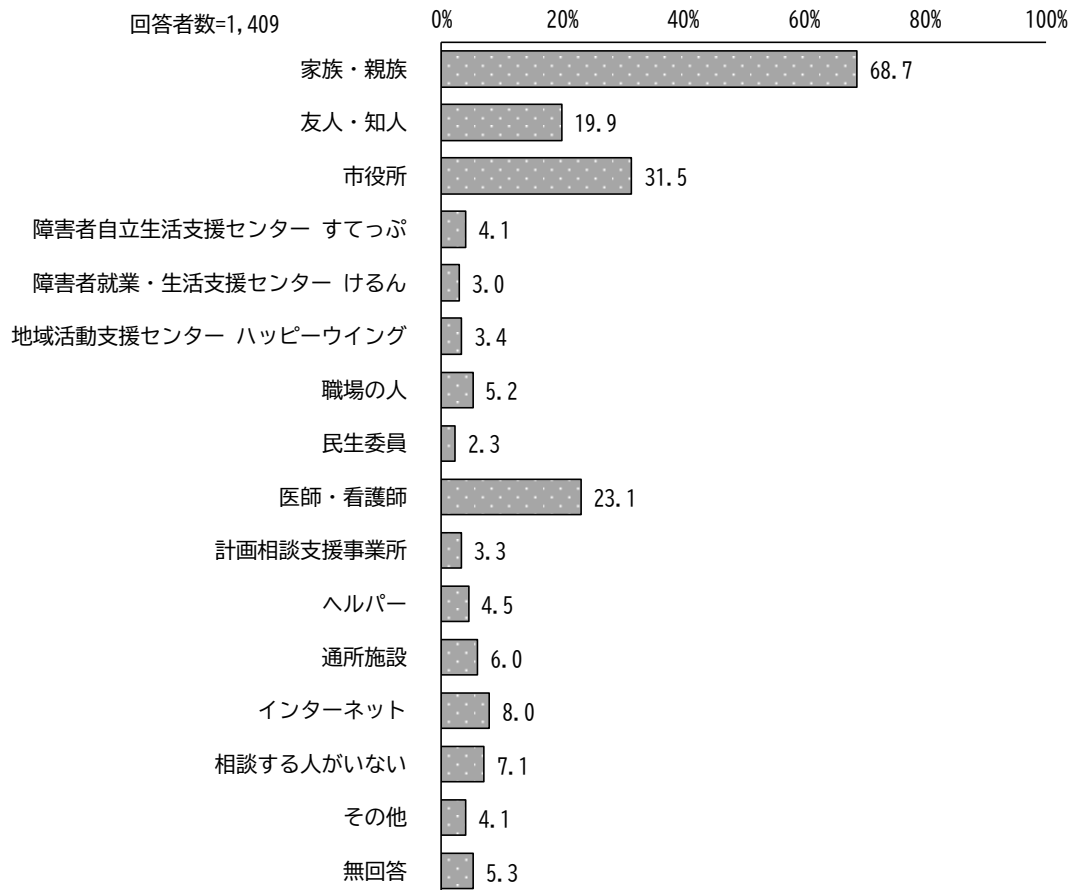
障害種別にみると、身体障害者、精神障害者は「後見人に家族以外(弁護士など)の第三者が選ばれることに抵抗があるから」(順に41.1%、54.0%)、知的障害者は「後見人に家族以外(弁護士など)の第三者が選ばれることに抵抗があるから」、「財産の使い道が厳しく制限され、自由度が低くなると聞いたから」(ともに53.8%)、難病患者は「家族や親族の支援で十分対応できているから」(63.6%)が最も多くなっています。

(単位: %)

区分	回答者数(人)	よく制度の内容や手続きがわからないから	手続きが面倒・複雑そうだから	費用(申立て費用、後見人への報酬など)が高いと感じるから	後見人に家族以外(弁護士など)の第三者が選ばれることに抵抗があるから	財産の使い道が厳しく制限され、自由度が低くなると聞いたから	家族や親族の支援で十分対応できているから	成年後見制度を利用する必要性を感じていないから	家族信託など、他の制度を利用・検討しているから	その他	無回答
全体	208	13.9	20.2	23.1	38.9	19.2	38.9	26.9	3.8	5.3	2.4
身体障害者	107	15.9	20.6	21.5	41.1	15.0	38.3	32.7	3.7	4.7	0.9
知的障害者	13	15.4	7.7	30.8	53.8	53.8	23.1	-	23.1	15.4	-
精神障害者	50	14.0	24.0	32.0	54.0	34.0	22.0	22.0	6.0	6.0	4.0
難病患者	44	4.5	11.4	15.9	29.5	9.1	63.6	22.7	6.8	2.3	2.3

問 32 あなたや支援者が、生活上の悩みや困ったことを相談するのはだれ（どこ）ですか。
 （あてはまる番号すべてに○）

悩みや困りごとの相談相手については、「家族・親族」の割合が68.7%と最も多く、次いで「市役所」の割合が31.5%、「医師・看護師」の割合が23.1%となっています。



【障害種別】

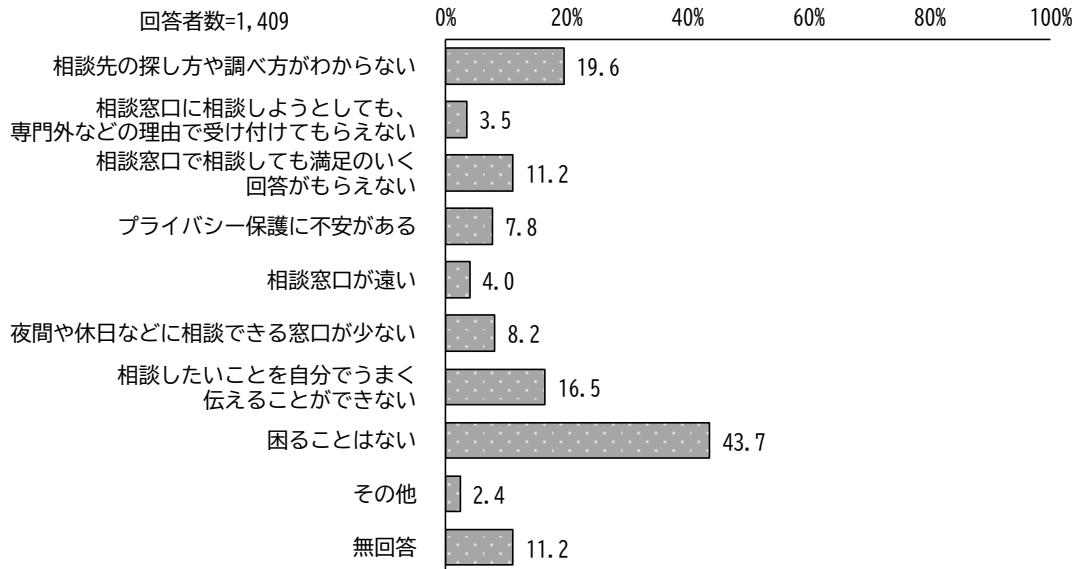
(単位：%)

区分	回答者数(人)	家族・親族	友人・知人	市役所	障害者自立生活支援センター	障害者就業・生活支援センター	地域活動支援センター ハッピーウイング	職場の人	民生委員
全体	1,409	68.7	19.9	31.5	4.1	3.0	3.4	5.2	2.3
身体障害者	752	70.3	20.3	32.0	2.7	2.3	2.0	2.5	2.8
知的障害者	131	67.9	16.0	27.5	18.3	4.6	-	16.0	3.8
精神障害者	299	61.9	24.1	34.8	5.4	6.4	8.7	8.4	1.7
難病患者	273	73.3	18.7	34.1	1.5	0.7	2.6	5.9	1.8

区分	医師・看護師	計画相談支援事業所	ヘルパー	通所施設	インターネット	相談する人がいない	その他	無回答
全体	23.1	3.3	4.5	6.0	8.0	7.1	4.1	5.3
身体障害者	20.1	2.4	5.1	4.0	7.0	7.0	2.9	6.5
知的障害者	13.7	11.5	6.1	22.1	3.8	0.8	9.9	2.3
精神障害者	34.8	6.0	4.0	7.7	11.4	9.0	6.7	2.3
難病患者	26.0	1.5	5.5	2.2	11.7	5.5	1.5	4.8

問 33 相談について、困ることはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

相談について、困ることは、「困ることはない」の割合が43.7%と最も多く、次いで「相談先の探し方や調べ方がわからない」の割合が19.6%、「相談したいことを自分でうまく伝えることができない」の割合が16.5%となっています。



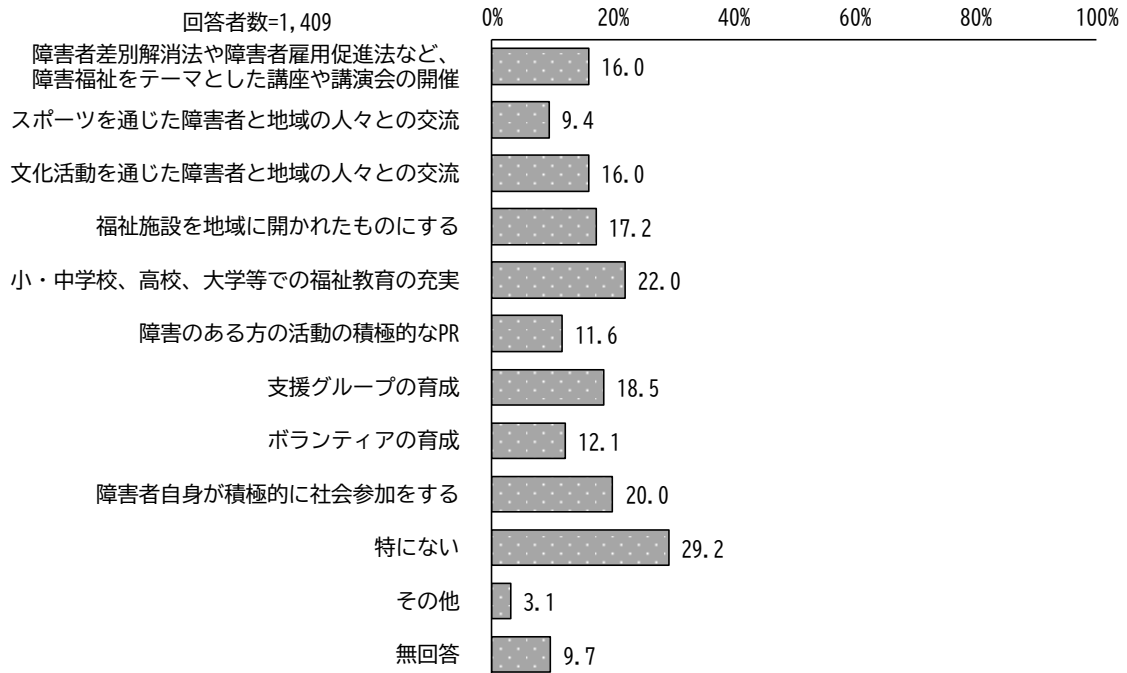
【障害の種類又は病名別】

(単位：%)

区分	回答者数(人)	相談先の探し方や調へ方がわからない	相談窓口にも相談しようとして付いても専門外などの理由で受け付けてもらえない	相談窓口で相談しても満足いく回答がもらえない	プライバシー保護に不安がある	相談窓口が遠い	夜間や休日などに相談できる窓口が少ない	相談したいことを自分できちんと伝えることができない	困ることはない	その他	無回答
全体	1,409	19.6	3.5	11.2	7.8	4.0	8.2	16.5	43.7	2.4	11.2
肢体不自由	359	19.8	2.2	9.5	6.1	2.5	6.1	12.5	46.0	1.1	15.0
視覚障害	67	31.3	3.0	10.4	1.5	7.5	7.5	11.9	43.3	3.0	9.0
聴覚障害	79	16.5	3.8	11.4	10.1	6.3	8.9	24.1	35.4	3.8	17.7
音声・言語障害	28	21.4	10.7	25.0	10.7	7.1	3.6	28.6	32.1	3.6	10.7
内部障害	228	18.0	3.1	11.0	8.3	3.1	6.1	5.7	50.9	2.2	9.2
統合失調症	118	23.7	5.9	13.6	11.9	6.8	15.3	28.0	32.2	4.2	8.5
うつ病	139	27.3	9.4	25.9	16.5	10.1	21.6	35.3	25.9	5.0	5.8
双極性障害	50	26.0	4.0	22.0	14.0	10.0	8.0	34.0	30.0	6.0	2.0
神経症	26	23.1	11.5	30.8	19.2	11.5	19.2	19.2	23.1	-	7.7
睡眠障害	78	29.5	11.5	25.6	19.2	12.8	21.8	28.2	24.4	2.6	6.4
その他	48	25.0	4.2	20.8	16.7	14.6	16.7	33.3	27.1	2.1	6.3
知的障害	130	20.0	3.1	11.5	6.9	1.5	6.9	37.7	38.5	3.1	6.2
発達障害	73	28.8	6.8	20.5	11.0	8.2	19.2	37.0	27.4	5.5	5.5
てんかん	42	21.4	2.4	28.6	14.3	7.1	19.0	23.8	28.6	4.8	11.9
高次脳機能障害	28	32.1	3.6	10.7	10.7	3.6	3.6	17.9	28.6	-	21.4
難病	188	12.8	4.8	10.1	4.8	2.1	9.6	8.0	56.9	3.2	6.9

問 34 障害のある方への理解を深めるために力を入れるべきことは何だと思えますか。
 (あてはまる番号すべてに○)

障害のある方への理解を深めるために力を入れるべきことについては、「特にない」の割合が29.2%と最も多く、次いで「小・中学校、高校、大学等での福祉教育の充実」の割合が22.0%、「障害者自身が積極的に社会参加をする」の割合が20.0%となっています。



【障害の種類又は病名別】

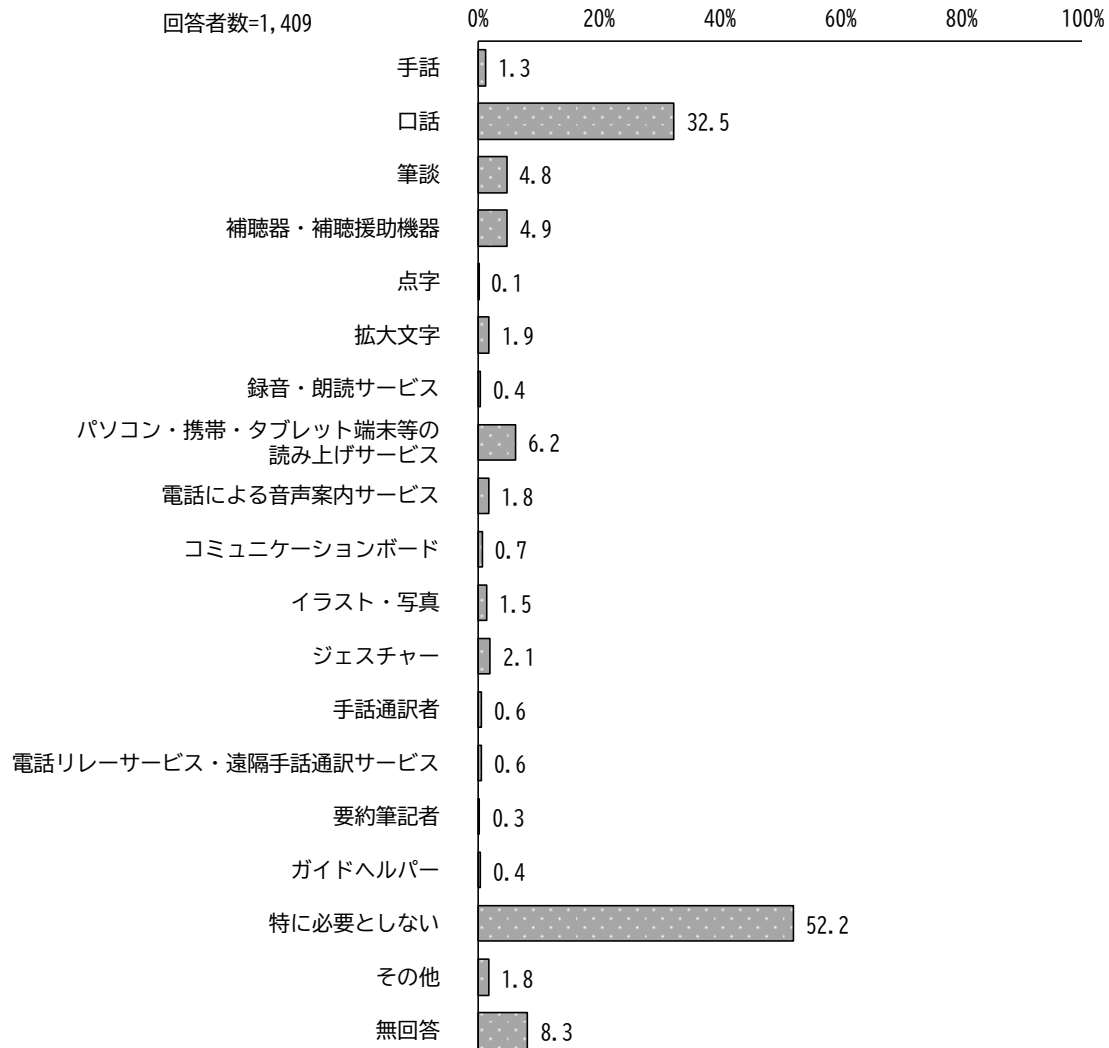
(単位：%)

区分	回答者数(人)	会の開催	雇用促進法など、障害福祉者	障害者差別解消法や障害者	地域の人々との交流	スポーツを通じた障害者と	文化活動を通じた障害者と	地域の人々との交流	福祉施設を地域に開かれた	ものにする	小・中学校、高校、大学等	で福祉教育の充実	障害のある方の活動の積極	的PR	支援グループの育成	ボランティアの育成	障害者自身が積極的に社会	参加をする	特にな	い	その他	無回答	
全体	1,409	16.0	9.4	16.0	17.2	22.0	11.6	18.5	12.1	20.0	29.2	3.1	9.7										
肢体不自由	359	13.6	7.5	16.4	16.2	16.2	11.4	16.2	13.4	20.6	30.4	2.8	12.0										
視覚障害	67	13.4	6.0	11.9	9.0	22.4	13.4	13.4	11.9	14.9	32.8	1.5	10.4										
聴覚障害	79	16.5	7.6	11.4	16.5	12.7	12.7	12.7	3.8	21.5	30.4	3.8	19.0										
音声・言語障害	28	25.0	7.1	7.1	14.3	10.7	14.3	28.6	7.1	32.1	21.4	-	10.7										
内部障害	228	13.6	7.9	19.3	18.0	22.8	10.5	14.9	9.6	25.9	30.7	2.2	9.2										
統合失調症	118	18.6	10.2	17.8	23.7	27.1	15.3	16.1	15.3	22.0	27.1	2.5	6.8										
うつ病	139	18.7	7.9	18.7	20.1	20.1	7.9	23.0	12.2	20.1	33.8	9.4	4.3										
双極性障害	50	16.0	2.0	4.0	16.0	28.0	6.0	22.0	8.0	20.0	26.0	10.0	4.0										
神経症	26	7.7	7.7	19.2	26.9	23.1	15.4	30.8	11.5	23.1	19.2	15.4	7.7										
睡眠障害	78	20.5	10.3	20.5	21.8	24.4	11.5	23.1	14.1	23.1	34.6	7.7	3.8										
その他	48	14.6	12.5	18.8	14.6	27.1	8.3	20.8	10.4	20.8	22.9	14.6	10.4										
知的障害	130	18.5	16.2	21.5	19.2	20.8	13.8	26.9	10.0	21.5	26.9	2.3	5.4										
発達障害	73	31.5	12.3	19.2	20.5	34.2	16.4	32.9	9.6	27.4	15.1	6.8	1.4										
てんかん	42	28.6	23.8	28.6	23.8	28.6	11.9	31.0	14.3	19.0	21.4	4.8	9.5										
高次脳機能障害	28	7.1	10.7	17.9	28.6	10.7	7.1	25.0	17.9	17.9	21.4	-	14.3										
難病	188	13.8	9.0	12.8	18.6	29.8	14.4	17.6	15.4	15.4	26.1	3.2	6.4										

(9) 情報の入手やコミュニケーションについて

問 35 あなたは、家族、親族、知人、支援者とコミュニケーションをとるときに、どのような意思疎通手段、支援を利用していますか。(あてはまる番号すべてに○)

必要とするコミュニケーションの支援については、「特に必要としない」の割合が52.2%と最も多く、次いで「口話」の割合が32.5%、「パソコン・携帯・タブレット端末等の読み上げサービス」の割合が6.2%となっています。



【障害種別】

障害種別にみると、身体障害者、精神障害者、難病患者は「特に必要としない」（順に 49.3%、56.9%、57.9%）、知的障害者は「口話」（42.0%）が最も多くなっています。

（単位：％）

区分	回答者数（人）	手話	口話	筆談	補聴器・補聴援助機器	点字	拡大文字	録音・朗読サービス	パソコン・携帯・タブレット端末等の読み上げサービス	電話による音声案内サービス
全体	1,409	1.3	32.5	4.8	4.9	0.1	1.9	0.4	6.2	1.8
身体障害者	752	2.0	33.1	5.1	7.7	0.3	3.1	0.5	6.5	2.1
知的障害者	131	0.8	42.0	6.9	2.3	-	1.5	0.8	6.9	0.8
精神障害者	299	0.3	34.1	4.0	0.3	-	0.7	0.7	4.0	1.0
難病患者	273	0.4	28.6	2.2	4.8	-	1.1	-	5.5	1.8

区分	コミュニケーションボード	イラスト・写真	ジェスチャー	手話通訳者	電話リレーサービス・遠隔手話通訳サービス	要約筆記者	ガイドヘルパー	特に必要としない	その他	無回答
全体	0.7	1.5	2.1	0.6	0.6	0.3	0.4	52.2	1.8	8.3
身体障害者	0.9	1.1	1.9	0.8	0.8	0.3	0.4	49.3	1.3	9.2
知的障害者	1.5	6.1	6.1	0.8	-	-	0.8	41.2	4.6	5.3
精神障害者	1.0	2.3	2.7	-	0.3	-	0.3	56.9	3.0	3.7
難病患者	0.4	0.7	-	0.4	-	0.4	1.1	57.9	0.7	10.3

【障害の種類又は病名別】

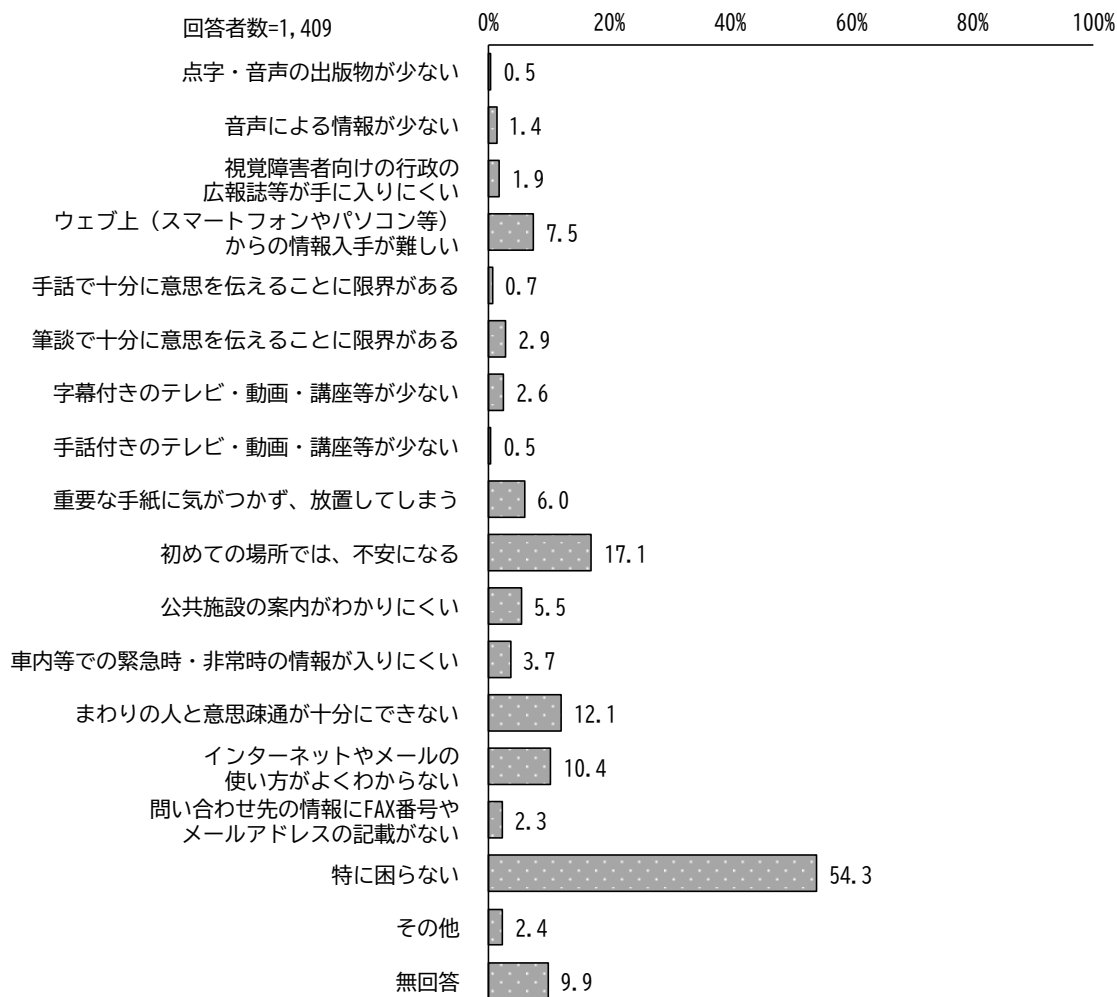
(単位：％)

区分	回答者数(人)	手話	口話	筆談	補聴器・補助機器	点字	拡大文字	録音・朗読サービス	パソコン・携帯端末等の読み上げサービス	電話による音声案内サービス
全体	1,409	1.3	32.5	4.8	4.9	0.1	1.9	0.4	6.2	1.8
肢体不自由	359	0.8	34.5	1.9	2.5	0.3	2.5	0.3	3.1	1.7
視覚障害	67	-	35.8	1.5	1.5	-	20.9	3.0	17.9	6.0
聴覚障害	79	15.2	30.4	34.2	59.5	-	2.5	-	12.7	1.3
音声・言語障害	28	-	35.7	21.4	-	-	7.1	7.1	10.7	3.6
内部障害	228	-	28.1	0.4	4.4	-	1.3	-	3.5	2.6
統合失調症	118	-	39.8	5.1	-	-	0.8	1.7	6.8	1.7
うつ病	139	-	33.8	6.5	-	-	1.4	1.4	5.0	2.9
双極性障害	50	-	38.0	4.0	-	-	-	-	6.0	-
神経症	26	-	50.0	3.8	3.8	-	3.8	-	3.8	3.8
睡眠障害	78	-	39.7	3.8	1.3	-	2.6	1.3	11.5	2.6
その他	48	-	39.6	6.3	-	-	-	-	4.2	-
知的障害	130	-	40.0	6.9	2.3	-	1.5	0.8	7.7	0.8
発達障害	73	1.4	37.0	4.1	-	-	-	-	1.4	-
てんかん	42	-	35.7	4.8	2.4	-	4.8	2.4	9.5	-
高次脳機能障害	28	3.6	53.6	10.7	-	3.6	-	3.6	3.6	3.6
難病	188	0.5	29.8	2.1	3.2	-	2.1	-	6.4	1.1

区分	コミュニケーションボード	イラスト・写真	ジェスチャー	手話通訳者	電話リレーサービス・遠隔手話通訳サービス	要約筆記者	ガイドヘルパー	特に必要としない	その他	無回答
全体	0.7	1.5	2.1	0.6	0.6	0.3	0.4	52.2	1.8	8.3
肢体不自由	1.1	1.1	1.1	0.3	0.3	-	0.6	52.4	1.1	10.6
視覚障害	-	-	-	-	-	-	3.0	32.8	3.0	11.9
聴覚障害	1.3	1.3	6.3	7.6	7.6	3.8	-	5.1	3.8	11.4
音声・言語障害	10.7	3.6	10.7	-	-	-	7.1	25.0	3.6	10.7
内部障害	-	0.4	0.4	-	-	-	0.4	62.3	0.4	8.8
統合失調症	1.7	1.7	2.5	-	0.8	-	-	50.0	4.2	4.2
うつ病	0.7	2.9	2.2	-	-	-	-	54.0	4.3	5.0
双極性障害	-	2.0	-	-	-	-	-	56.0	4.0	4.0
神経症	-	3.8	-	-	-	-	-	42.3	3.8	3.8
睡眠障害	-	3.8	1.3	-	1.3	-	-	47.4	5.1	2.6
その他	-	2.1	6.3	-	-	-	-	54.2	4.2	8.3
知的障害	0.8	6.2	7.7	-	-	-	0.8	39.2	5.4	6.9
発達障害	1.4	4.1	4.1	-	-	-	-	54.8	4.1	4.1
てんかん	2.4	2.4	14.3	-	-	-	2.4	40.5	2.4	14.3
高次脳機能障害	3.6	3.6	7.1	-	-	-	-	39.3	-	10.7
難病	0.5	1.1	0.5	-	-	-	0.5	60.6	1.6	4.8

問 36 あなたが情報を入手する際や、コミュニケーションをとる際に困ったり不便に思うことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

情報を入手する際や、コミュニケーションをとる際に不便に思うことについては、「特に困らない」の割合が54.3%で最も多く、次いで「初めての場所では、不安になる」の割合が17.1%、「まわりの人と意思疎通が十分にできない」の割合が12.1%となっています。



【障害種別】

障害種別にみると、コミュニケーションをとる際に不便に思うことについては、全ての障害で「特に困らない」が最も多くなっています。

(単位：%)

区分	回答者数(人)	点字・音声の出版物が少ない	音声による情報が少ない	視覚障害者が手への行政の問い合わせが難しい	ウェブ上(スマートフォン等)からの情報入手が難しい	手話で十分に意思を伝えることに限界がある	筆談で十分に意思を伝えることに限界がある	字幕付きのテレビ・動画・講座等が少ない	手話付きのテレビ・講座等が少ない	重要な手紙に気がつかず、放置してしまう
全体	1,409	0.5	1.4	1.9	7.5	0.7	2.9	2.6	0.5	6.0
身体障害者	752	0.5	2.0	2.8	7.2	1.1	3.2	3.9	0.7	4.9
知的障害者	131	-	3.1	0.8	6.9	-	7.6	2.3	-	8.4
精神障害者	299	0.3	0.7	1.0	9.4	0.3	2.3	1.3	0.3	10.0
難病患者	273	0.7	0.7	1.5	5.9	0.7	0.7	1.1	-	2.2

区分	初めての場所では、不安になる	公共施設内がわかりにくい	車内等での緊急時・非常時の情報が入りにくい	まわりの人と意思疎通が十分にできない	インターネットやメールの使い方がよくわからない	FAX番号やメールアドレスの記載がない	問い合わせ先の情報に困らない	その他	無回答
全体	17.1	5.5	3.7	12.1	10.4	2.3	54.3	2.4	9.9
身体障害者	10.9	4.8	4.0	7.6	10.4	2.3	56.9	2.7	11.6
知的障害者	29.0	8.4	8.4	29.8	12.2	3.8	42.7	6.1	5.3
精神障害者	38.5	8.4	2.0	25.1	7.7	3.3	42.1	3.7	5.7
難病患者	7.7	4.0	3.3	4.8	9.2	2.6	66.3	1.1	10.3

【障害の種類または病名別】

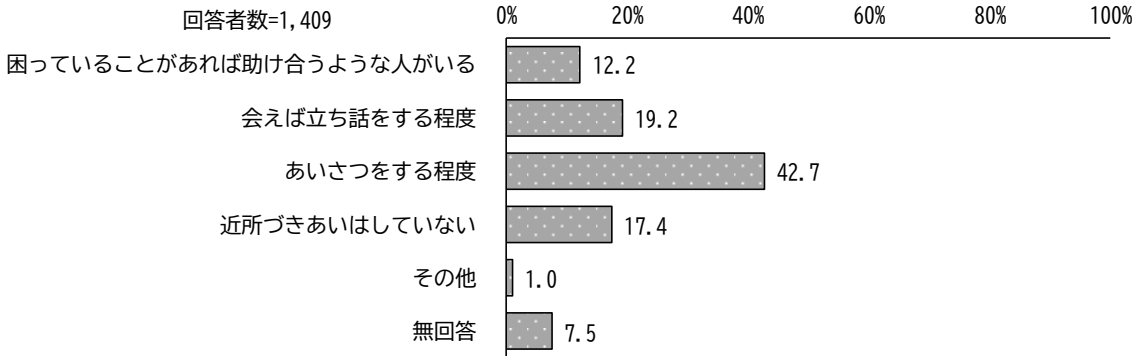
(単位：%)

区分	回答者数(人)	出版字・音声の少ない	音声による情報が少ない	行政視覚障害者向けの手帳や冊子等が利用しにくい	ウェブ上の情報(音声・動画・画像等)が利用しにくい	手話で十分に意思を伝えることができない	筆談で十分に意思を伝えることができない	字幕付きのテレビ・動画・講座等が利用しにくい	手話付きのテレビ・講座等が利用しにくい	重要な手紙に気がつかない
全体	1,409	0.5	1.4	1.9	7.5	0.7	2.9	2.6	0.5	6.0
身体障害者	752	0.5	2.0	2.8	7.2	1.1	3.2	3.9	0.7	4.9
知的障害者	131	-	3.1	0.8	6.9	-	7.6	2.3	-	8.4
精神障害者	299	0.3	0.7	1.0	9.4	0.3	2.3	1.3	0.3	10.0
難病患者	273	0.7	0.7	1.5	5.9	0.7	0.7	1.1	-	2.2
肢体不自由	359	0.6	1.9	2.5	6.4	0.6	1.4	1.1	-	4.5
視覚障害	67	6.0	9.0	16.4	14.9	-	-	1.5	-	17.9
聴覚障害	79	-	1.3	5.1	3.8	7.6	22.8	25.3	5.1	7.6
音声・言語障害	28	3.6	3.6	7.1	7.1	7.1	10.7	-	-	14.3
内部障害	228	-	-	0.4	7.5	-	0.4	2.2	-	4.8
統合失調症	118	-	0.8	1.7	11.9	0.8	3.4	-	-	10.2
うつ病	139	-	1.4	0.7	11.5	0.7	4.3	0.7	-	12.2
双極性障害	50	-	-	-	8.0	-	-	-	-	8.0
神経症	26	-	3.8	-	3.8	-	-	3.8	-	7.7
睡眠障害	78	-	1.3	1.3	11.5	-	2.6	1.3	-	9.0
その他	48	2.1	-	-	8.3	-	2.1	-	-	10.4
知的障害	130	-	3.1	0.8	8.5	-	7.7	2.3	0.8	8.5
発達障害	73	-	1.4	-	4.1	-	2.7	4.1	1.4	13.7
てんかん	42	-	-	-	9.5	2.4	4.8	-	-	14.3
高次脳機能障害	28	-	-	-	10.7	-	3.6	-	-	3.6
難病	188	-	1.1	1.6	7.4	-	1.6	0.5	-	1.6

区分	は初めて不安になる	公共施設の利用が困難	時内非常時の緊急情報	車内での緊急情報	主要な通行人の意思	メインのネットワークが利用しにくい	マイクが利用しにくい	問い合わせ先の番号や情報が不明	特に困らない	その他	無回答
全体	17.1	5.5	3.7	12.1	10.4	2.3	54.3	2.4	9.9		
身体障害者	10.9	4.8	4.0	7.6	10.4	2.3	56.9	2.7	11.6		
知的障害者	29.0	8.4	8.4	29.8	12.2	3.8	42.7	6.1	5.3		
精神障害者	38.5	8.4	2.0	25.1	7.7	3.3	42.1	3.7	5.7		
難病患者	7.7	4.0	3.3	4.8	9.2	2.6	66.3	1.1	10.3		
肢体不自由	9.5	3.1	2.2	6.4	8.9	1.9	60.4	3.3	12.8		
視覚障害	31.3	11.9	10.4	6.0	10.4	1.5	28.4	6.0	10.4		
聴覚障害	15.2	2.5	16.5	21.5	7.6	1.3	26.6	1.3	13.9		
音声・言語障害	21.4	10.7	3.6	25.0	21.4	10.7	32.1	3.6	7.1		
内部障害	6.6	7.9	3.5	3.5	14.0	2.2	64.5	1.3	9.6		
統合失調症	33.1	7.6	2.5	22.9	14.4	4.2	46.6	2.5	5.9		
うつ病	40.3	11.5	3.6	23.7	11.5	5.0	41.7	3.6	5.8		
双極性障害	32.0	6.0	2.0	14.0	2.0	2.0	54.0	4.0	8.0		
神経症	26.9	3.8	-	15.4	7.7	-	46.2	11.5	11.5		
睡眠障害	34.6	11.5	1.3	23.1	7.7	3.8	44.9	5.1	3.8		
その他	41.7	10.4	-	29.2	8.3	-	31.3	8.3	8.3		
知的障害	31.5	6.9	8.5	30.8	12.3	3.1	38.5	6.2	6.9		
発達障害	38.4	8.2	1.4	32.9	4.1	2.7	35.6	8.2	2.7		
てんかん	31.0	14.3	9.5	28.6	9.5	2.4	31.0	4.8	11.9		
高次脳機能障害	25.0	7.1	3.6	21.4	14.3	3.6	42.9	3.6	7.1		
難病	8.0	3.7	3.2	6.4	10.1	2.1	70.2	0.5	4.3		

問 37 あなたは、近所づきあいをどの程度していますか。(1つに○)

近所づきあいをどの程度しているかについては、「あいさつをする程度」の割合が42.7%と最も多く、次いで「会えば立ち話をする程度」の割合が19.2%、「近所づきあいはしていない」の割合が17.4%となっています。



【障害種別】

障害種別にみると、全ての障害で「あいさつをする程度」が最も多くなっています。

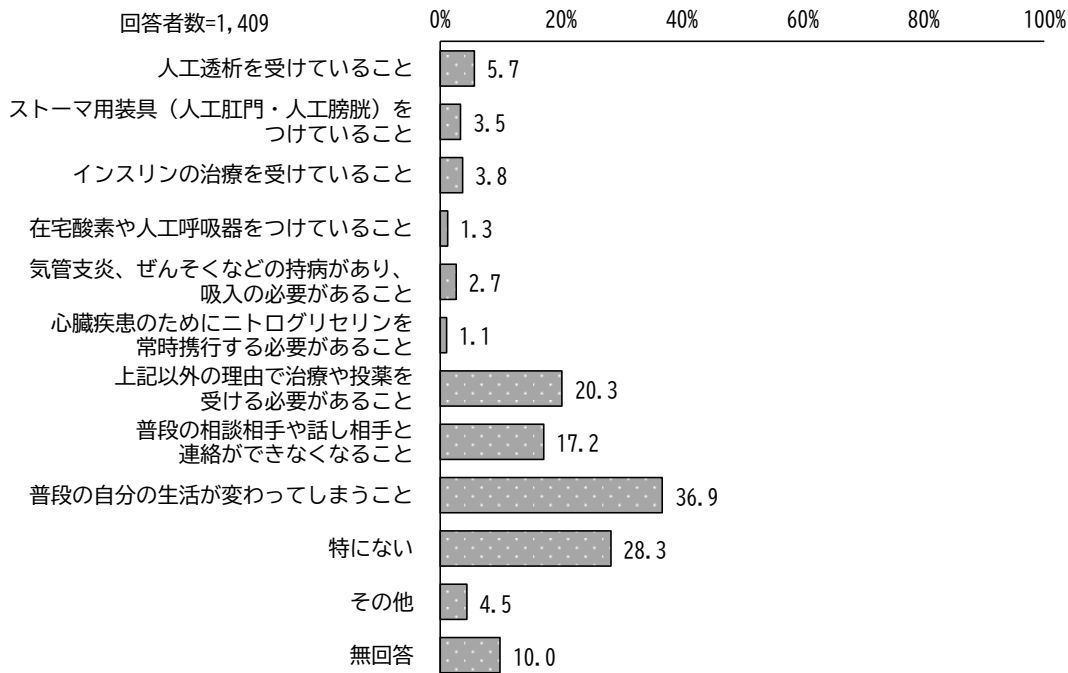
(単位：%)

区分	回答者数(人)	困っていることがあれば助け合うような人がある	会えば立ち話をする程度	あいさつをする程度	近所づきあいはしていない	その他	無回答
全体	1,409	12.2	19.2	42.7	17.4	1.0	7.5
身体障害者	752	14.8	22.3	39.5	13.7	0.8	8.9
知的障害者	131	2.3	7.6	51.1	32.1	2.3	4.6
精神障害者	299	6.0	9.7	49.5	29.1	1.7	4.0
難病患者	273	15.0	26.4	40.3	11.0	0.4	7.0

(10) 災害時の対応について

問 38 災害発生時、数日間医療機関や福祉サービス等を利用できないことが想定されますが、心身の健康面や生活面で困ることについて、どのようなことがありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

災害発生の際に健康面や生活面で困ることについては、「普段の自分の生活が変わってしまうこと」の割合が36.9%と最も多く、次いで「特にない」の割合が28.3%、「上記以外の理由で治療や投薬を受ける必要があること」の割合が20.3%となっています。



【障害種別】

障害種別にみると、身体障害者、精神障害者は「普段の自分の生活が変わってしまうこと」(順に31.6%、59.2%)、知的障害者は「特にない」(43.5%)、難病患者は「人工透析を受けていること」(27.1%)が最も多くなっています。

(単位：%)

区分	回答者数(人)	人工透析を受けていること	ストーマ用装具(人工肛門と人工膀胱)をつけていること	インスリンの治療を受けていること	在宅酸素や人工呼吸器をつけていること	気管支炎、ぜんそくなどの持病があり、吸入の必要があること	心臓疾患のためにニトログリセリンを常時携帯する必要があること	上記以外の理由で治療や投薬を受ける必要があること	普段の相談相手や話し相手と連絡ができなくなること
全体	1,409	5.7	3.5	3.8	1.3	2.7	1.1	20.3	17.2
身体障害者	752	9.8	5.7	5.1	1.9	2.7	1.7	15.3	13.4
知的障害者	131	1.5	0.8	1.5	0.8	2.3	-	8.4	21.4
精神障害者	299	1.0	0.3	3.0	-	4.0	1.0	31.8	30.4
難病患者	273	27.1	2.2	7.0	2.6	3.3	0.4	22.7	12.8

区分	普段の自分の生活が変わってしまうこと	特にない	その他	無回答
全体	36.9	28.3	4.5	10.0
身体障害者	31.6	28.9	4.7	12.1
知的障害者	41.2	43.5	0.8	3.8
精神障害者	59.2	19.1	5.0	3.7
難病患者	23.1	21.6	6.6	7.3

【障害の種類または病名別】

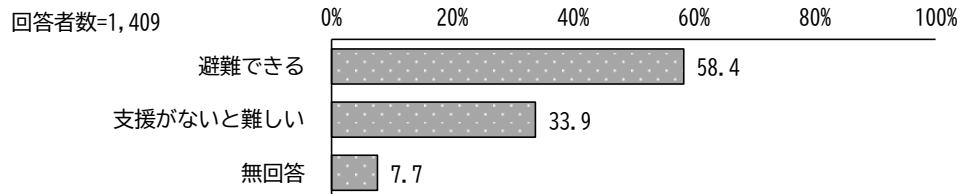
(単位：%)

区分	回答者数(人)	人工透析を受けていること	ストーマ用器具(人工肛門・人工膀胱)をつけていること	インスリンの治療を受けていること	在宅酸素や人工呼吸器をつけていること	気管支炎、ぜんそくなどの持病があり、吸入の必要があること	心臓疾患のためにニトログリセリンを常時携帯する必要があること	上記以外の理由で治療や投薬を受ける必要があること	普段の相談相手や話し相手と連絡ができなくなる事
全体	1,409	5.7	3.5	3.8	1.3	2.7	1.1	20.3	17.2
肢体不自由	359	1.1	3.1	4.2	1.7	4.5	1.7	14.2	13.9
視覚障害	67	3.0	-	10.4	3.0	1.5	-	10.4	17.9
聴覚障害	79	-	1.3	2.5	2.5	2.5	2.5	8.9	24.1
音声・言語障害	28	-	-	-	-	-	3.6	14.3	28.6
内部障害	228	20.2	12.3	6.1	3.5	0.9	2.6	21.9	13.2
統合失調症	118	-	-	5.1	-	1.7	-	27.1	22.9
うつ病	139	2.2	-	5.0	-	5.0	2.2	38.8	34.5
双極性障害	50	2.0	-	2.0	-	8.0	2.0	24.0	24.0
神経症	26	-	3.8	3.8	3.8	7.7	3.8	42.3	34.6
睡眠障害	78	1.3	1.3	3.8	-	9.0	-	48.7	28.2
その他	48	4.2	-	2.1	-	8.3	2.1	33.3	25.0
知的障害	130	1.5	0.8	1.5	0.8	2.3	0.8	10.8	22.3
発達障害	73	1.4	1.4	1.4	1.4	2.7	-	26.0	28.8
てんかん	42	2.4	4.8	-	-	2.4	-	38.1	14.3
高次脳機能障害	28	-	-	7.1	-	-	-	17.9	14.3
難病	188	6.4	1.1	2.7	2.1	2.7	1.1	33.0	12.8

区分	普段の自分生活が変わってしまうこと	特にな	その他	無回答
全体	36.9	28.3	4.5	10.0
肢体不自由	39.0	32.3	5.6	11.7
視覚障害	31.3	23.9	7.5	19.4
聴覚障害	22.8	40.5	1.3	17.7
音声・言語障害	39.3	25.0	-	17.9
内部障害	28.5	19.7	4.4	10.5
統合失調症	55.1	25.4	4.2	5.9
うつ病	61.2	14.4	5.8	4.3
双極性障害	48.0	24.0	4.0	6.0
神経症	57.7	3.8	11.5	11.5
睡眠障害	55.1	17.9	6.4	3.8
その他	47.9	18.8	18.8	6.3
知的障害	42.3	39.2	2.3	4.6
発達障害	57.5	24.7	1.4	4.1
てんかん	31.0	23.8	4.8	9.5
高次脳機能障害	42.9	28.6	3.6	10.7
難病	30.3	25.5	10.6	4.3

問 39 災害発生時に自力で避難することができますか。(1つに○)

災害発生時の自力避難については、「避難できる」の割合が58.4%、「支援がないと難しい」の割合が33.9%となっています。



【障害種別】

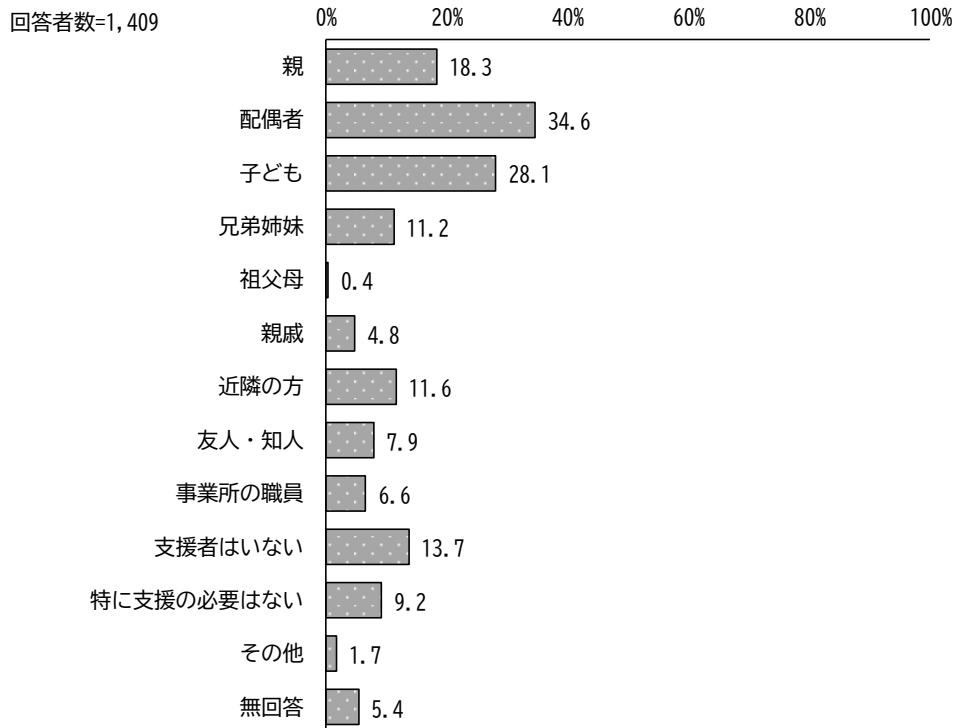
障害種別にみると、身体障害者、精神障害者、「難病患者」は「避難できる」(順に53.9%、69.2%、67.0%)、知的障害者は「支援がないと難しい」(59.5%)が最も多くなっています。

(単位：%)

区分	回答者数(人)	避難できる	支援がないと難しい	無回答
全体	1,409	58.4	33.9	7.7
身体障害者	752	53.9	37.0	9.2
知的障害者	131	38.2	59.5	2.3
精神障害者	299	69.2	25.8	5.0
難病患者	273	67.0	24.2	8.8

問 40 災害発生に伴う避難時に、支援してくれる人は誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

避難に際しての支援者については、「配偶者」の割合が34.6%と最も多く、次いで「子ども」の割合が28.1%、「親」の割合が18.3%となっています。



【障害種別】

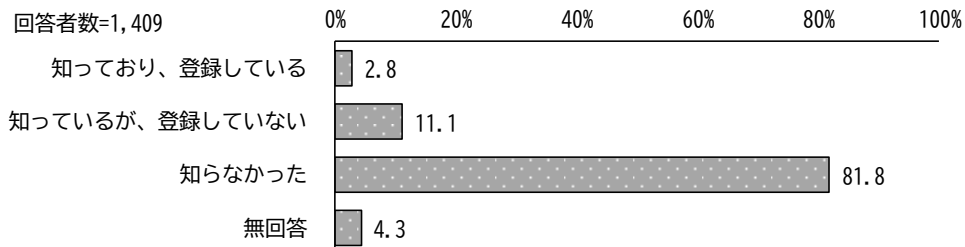
障害種別にみると、身体障害者、難病患者は「配偶者」(順に42.8%、40.3%)、知的障害者、精神障害者は「親」(順に64.9%、36.1%)が最も多くなっています。

(単位：%)

区分	回答者数(人)	親	配偶者	子ども	兄弟姉妹	祖父母	親戚	近隣の方	友人・知人	事業所の職員	支援者はいない	特に支援の必要はない	その他	無回答
全体	1,409	18.3	34.6	28.1	11.2	0.4	4.8	11.6	7.9	6.6	13.7	9.2	1.7	5.4
身体障害者	752	9.2	42.8	35.8	9.2	0.3	4.3	12.9	9.0	4.7	12.8	7.7	1.1	5.7
知的障害者	131	64.9	4.6	0.8	24.4	-	6.9	9.9	3.1	33.6	1.5	6.9	2.3	1.5
精神障害者	299	36.1	21.7	11.0	14.4	1.0	4.3	8.0	9.7	6.7	20.1	10.0	3.3	3.7
難病患者	273	11.7	40.3	35.2	11.4	-	7.0	12.1	5.1	3.3	12.1	13.6	0.4	6.2

問 41 あなたは、「避難行動要支援者名簿」をご存じでしたか。(1つに○)

「避難行動要支援者名簿」の認知度については、「知らなかった」の割合が81.8%と最も多く、次いで「知っているが、登録していない」の割合が11.1%、「知っており、登録している」の割合が2.8%となっています。



【障害種別】

障害種別にみると、全ての障害で「知らなかった」が最も多くなっています。

(単位：%)

区分	回答者数(人)	知っており、登録している	知っているが、登録していない	知らなかった	無回答
全体	1,409	2.8	11.1	81.8	4.3
18～39歳	202	4.0	15.3	80.7	-
40～64歳	468	2.1	9.8	85.3	2.8
65～69歳	122	3.3	9.8	84.4	2.5
70歳以上	601	3.0	10.8	79.5	6.7

(11) 自由意見について

問 42 市の障害福祉施策について意見やご要望がありましたら記入してください。

自由意見にはのべ 265 件の記述がありました。項目ごとに整理すると以下のとおりです。

項目	件数
障害福祉制度・サービスへの謝辞	31
市職員の障害者に対する対応の充実	13
市からの積極的な情報発信	13
経済的支援	12
アンケートについて	12
バス・福祉バスについて	11
就労支援の充実	10
災害発生時の支援	9
相談体制の充実	8
サービス全般の質・量の不足、推進	8
障害者差別の解消・理解の促進	8
バリアフリーの推進	7
移動手段の確保	7
サービスについての情報提供	6
タクシー券について	6
入所施設等の充実	5
道路・歩道の整備、休憩ベンチの設置	5
手続きの簡略化・サポート	5
エレベーター・エスカレーター等の設置	5
交流の場の確保	5
将来に対する不安	3
親亡き後の支援の充実	2
医療サービス等の充実	2
介護者向けの講習会、市民ボランティアの育成など	2
施設サービスに対する要望	2
発達障害の早期発見・早期対応	1
障害者手帳で利用できる交通機関の充実	1
その他	30
なし・特になし	36
合計	265

代表的な意見

○障害福祉制度・サービスへの謝辞 31件

- ・窓口でのわかりやすく、ていねいな対応いつもありがとうございます。安心して、色々聞けて助かります。
- ・就労継続支援、就労移行支援、障害者手帳、自立支援などたくさんの支援をして下さり、いつも感謝しております。おかげさまで体調を維持しつつ、就労の継続ができています。これからも何卒よろしく願いいたします。
- ・市の福祉課を利用することが多くありますが、皆さん、親切で対応が良く、感謝しております。
- ・障害福祉係の窓口の方は皆様親切で丁寧にサポートして頂き、大変助かっています

○市からの積極的な情報発信 13件

- ・市の障害福祉施策の件、広報とかその他でもっと分かりやすく説明してほしい。障害が有る場合、避難時にどこに連絡したら良いのか分らない。
- ・知らない事もあったので定期的にお知らせして下さいようお願い致します。
- ・受けられる支援サービスを知らないものが多かった（今も多い）。市役所から該当者にハガキや書面などで案内を送っていただけると有難いです。

○経済支援 12件

- ・ストーマ用装具を購入していますが、値上がり幅が大きく大変なので補助金を増やして欲しいです。
- ・ケアマネジャーや医療関係者からもいろいろな提案を受けますが、お金がかかると腰が引けます。市の施策等もよく考えられており、利用を検討していますが、いかんせん物価等いろんなものが値上げされるとサービスを我慢するしかないのが現状です。なんとかしてほしいです。
- ・物価高で食料品が高いので、障害のある人に、食料品の割引等を支援して下さると生活がもっと楽になります。

○バス・福祉バスについて 11件

- ・福祉バスを利用しますが、一方通行のコースしかない為帰りは1時間以上待つ必要があるため、反対方向のバスを運行してほしい。無料である必要はないと思うので、50~100円位で利用できるバスがあればとても助かります。
- ・福祉バスを利用していますが、障害を持つ子どもたちのために無料で継続して頂きたいです。私のような60歳未満の者が利用していると、「何で乗ってるの？」みたいな目で見られるので、利用したくなくなり、今は自転車に乗る事が多いです。雨や雪の日の仕事帰りに市役所に自転車を置いてバスに乗って帰宅出来たり、必要な時に利用させて頂いています。帰宅後、市役所まで行き、自転車で買い物出来るので助かっています。路線バスや電車と違い、マナーが悪い人が多いですが、他市のように有料にしたら利用者は減少すると想定します。そのため、予算もあると思いますが福生市ならではの福祉バスは続けて頂きたいです。

○就労支援の充実 10件

- ・障害を持った人が働ける場所がもっとあったら嬉しいです。
- ・障害者枠の求人で仕事を探したいと思っているが、不安があり、なかなか1歩がふみだせない。市役所の福祉課とハローワークの仕事探しが連動出来るようなシステムがあるとうれしいです。
- ・福生市に関わらず、B型事業所の工賃が安すぎる。作業所が少なすぎるので増やしてほしい。

○相談体制の充実 8件

- ・平日は仕事で相談ができません。土曜日などで、相談できるような機会があれば、相談に行けると思うので、是非、検討して頂ければと思います。
- ・家庭内に介護を必要とする者がいて、自分の症状が進行した時を考えると不安になる。その時は、市の福祉関係の方に助けを求めたい。

○サービスについての情報提供 6件

- ・医師から、「もっと筋力をつける為運動をさせて下さい。」と言われているが、障害者スポーツの補助員さんがいる場所がわからないので、情報が欲しいです。
- ・今のところ特にありませんが、介護や障害施設の紹介や各サービスの案内、また、それを利用された方々の体験記などが記載されている冊子やリーフレットなどを定期的に発行、配布して頂けると助かります。これからの更なる高齢化社会に向けて、ニーズや需要は高くなるとも思います。宜しくお願いいたします。

○手続きの簡略化・サポート 5件

- ・手続きが大変で困る。自分一人ではできない。
- ・自立支援などの証明書や手続きなどがもっと楽だと助かると思います。(何度も足を運ばなくてもよいように)